

2020年度 国立大学法人 長崎大学概要

NAGASAKI UNIVERSITY



理 念

長崎大学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的發展に貢献する。

基本的目標

長崎大学は、東シナ海を介して大陸と向き合う地理的環境と出島、原爆被ばくなどの記憶を有する地域に在って、長年にわたり培ってきた大学の個性と伝統を基盤に、新しい価値観と個性輝く人材を創出し、大きく変容しつつある現代世界と地域の持続的發展に寄与する。第3期中期目標期間においては、具体的に以下の項目を基本的目標として設定し、新しい学長主導ガバナンス体制の下、改革を迅速かつ大胆に推進する。

- (1) 熱帯医学・感染症、放射線医療科学分野における卓越した実績を基盤に、予防医学や医療経済学等の関連領域を学際的に糾合して、人間の健康に地球規模で貢献する世界的“グローバルヘルス”教育研究拠点となる。
- (2) 全ての教育研究領域の高度化、国際化を推進するとともに、国内外のトップレベルの大学との連携の強化及び実質化、管理運営・人事システム改革、学内資源の適正再配置等をととして、大学全体の総合力を格段に向上させ、世界最高水準の総合大学への進化のための基盤を構築する。
- (3) グローバル化する社会の要請に応えるべく、国際水準の教育、キャンパスの国際化、日本人学生の留学の飛躍の拡大の実現に向けた戦略的かつ包括的な教育改革を推進し、地域の課題を掘り下げる能力と、多文化が共生する国際社会の現場で活躍する力を兼ね備えた長崎大学ブランド人材を育成する。
- (4) 特に学部教育においては、学生参加型の新しい教養教育と世界標準の学部専門教育との有機的結合により、問題解決能力・創造的思考力・コミュニケーションスキル等の学士力と各専門分野の知識・素養に裏打ちされ、現実の課題に即応できる個性輝く学士を育成する。また、新しい大学教育を高校教育改革と効果的に接続させるため、多面的かつ基盤的な資質・能力を測るための新しい入学者選抜方法を先進的に開発・導入する。
- (5) 地域に基盤を置く総合大学として、地域のニーズに寄り添いつつ、教育研究の成果を地域の行政、産業、保健医療、教育、観光に還元し、グローバル化時代における地域創生の原動力となる。特に、海洋エネルギー、海洋生物資源、水環境、地域福祉医療、核兵器廃絶など、地域社会の持続的發展に大きく貢献し、かつ、地球規模課題にも直結する特色分野における教育研究を重点的に推進する。また、東日本大震災直後から継続している福島との協働を強化し、福島の未来創造に貢献する。

目 次

沿 革

沿革	2
----	---

組 織

機構図	12
歴代学長	14
役員会構成員	15
学長選考会議委員	15
経営協議会委員	15
教育研究評議会評議員	15
役職員	16
役員・職員数	18

教育研究等

学部	
多文化社会学部	19
教育学部	19
経済学部	19
医学部	19
歯学部	19
薬学部	19
情報データ科学部	19
工学部	19
環境科学部	19
水産学部	19

大学院	
多文化社会学研究科	19
教育学研究科	19
経済学研究科	19
工学研究科	20
水産・環境科学総合研究科	20
医歯薬学総合研究科	20
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	20
学年暦	20

附属施設等

附属研究所 熱帯医学研究所	21
附属研究所 原爆後障害医療研究所	21
附属図書館	21
病院	22

教育学部附属学校・園	23
保健・医療推進センター	24
長崎大学教育研究プロジェクト拠点	25
国際交流推進室	25

特色ある教育・研究

特色ある教育	26
特色ある研究	27

学生数等

学生数	28
令和2年度入学者状況	30
令和元年度卒業生（修了者）及び進路状況	31
過去5年間の進路状況の推移	32
学位授与数	33

国際交流

令和2年度外国人留学生	34
海外の大学等との学術交流協定締結状況	35
教員の海外渡航及び 外国人研究者受入数（令和元年度）	42

社会貢献

産学連携	43
------	----

財 政

令和2年度予算額	44
外部資金等	44

キャンパス

文教キャンパス	45
坂本キャンパス	46
片淵キャンパス	48
厚生補導施設等	49
土地・建物・船舶	50
部局等所在地一覧	52
長崎大学位置図	54
長崎大学ロゴマーク	55



沿革

安政4（1857）年11月12日、オランダ軍医ポンペ・ファン・メールデルフォールトが、幕府医官松本良順をはじめとする12名に対し、オランダ語による医学講義を開始した。この医学部の起源である医学伝習所の設置が長崎大学の創基である。

安政4. 11 (1857年)	・医学伝習所設置	11. 1 (1878年)	・長崎病院医学場を長崎医学校と改称
萬延元 (1860年)	・市民対象の病院機能、化学・薬剤、図書館、解剖施設、臨床実習機能を完備した養生所を開設（長崎大学病院の起源）	2	・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管
文久元. 9 (1861年)	・養生所を拡充して医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了）	6	・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称
慶応元 (1865年)	・養生所を精得館と改称。10月、物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置	12. 1 (1879年)	・長崎医学校を県立とし、長崎病院を医学校附属に代用
明治元. 10 (1868年)	・精得館を長崎府医学校と改称	16 (1883年)	・文部省令医学校通則に基づいて、長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される
2 (1869年)	・長崎県病院医学校	17. 6 (1884年)	・長崎県女子師範学校設置
4. 10 (1871年)	・長崎県病院医学校が文部省所管となり、長崎医学校と改称	19. 4 (1886年)	・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる
7 (1874年)	・台湾出兵により、長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる	6	・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置
2	・官立長崎師範学校設置	6	・師範学校令が公布され、長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称
3	・長崎県小学教則講習所設置	20. 8 (1887年)	・中学校令に基づいて第五高等中学校医学部を設置。9月、長崎医学校は廃止
8 (1875年)	・台湾出兵終了により、藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置	23. 6 (1890年)	・第五高等中学校医学部に薬学科を設置（薬学科の起源）
2	・長崎県小学教則講習所を養成所と改称	24. 9 (1891年)	・西彼杵郡浦上山里村に第五高等中学校医学部、同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源）
11	・官立長崎師範学校附属小学校開設	27. 9 (1894年)	・高等学校令に基づいて第五高等中学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称
9. 1 (1876年)	・養成所を小学教師養成所と改称	31. 4 (1898年)	・師範教育令に基づいて、長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称
5	・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称	34. 3 (1901年)	・専門学校令に基づいて、第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置
6	・長崎病院内に医学場を開設し、医学教育機関が再開		
10. 4 (1877年)	・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称		

36 (1903年)	・長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置	14. 5 (1939年)	・長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置
38. 3 (1905年)	・長崎高等商業学校を設置（経済学部、片淵キャンパスの起源）	17. 3 (1942年)	・長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設
41. 4 (1908年)	・長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立	3	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源）
大正 6. 5 (1917年)	・長崎高等商業学校に海外貿易科を設置	9	・長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称
9. 11 (1920年)	・長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館）	18. 4 (1943年)	・師範教育令改正に基づいて、長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり、専門学校水準に昇格
10 (1921年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置	19. 3 (1944年)	・長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称
11. 4 (1922年)	・長崎県より長崎病院が国に寄附され、これを長崎医学専門学校附属医院とする	4	・長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設
	・附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置		・師範教育令改正に基づいて、長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり、専門学校水準に昇格、長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止
12. 3 (1923年)	・官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し、附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置		・長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称
	・長崎医学専門学校附属医院は長崎医科大学附属医院となり、助産婦及看護婦養成所を併置	20. 6 (1945年)	・長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部へ改称
14. 4 (1925年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止	8	・長崎市に原爆投下 長崎医科大学（附属医学専門部、附属薬学専門部を含む）897名、長崎師範学校54名、長崎高等商業学校27名、長崎青年師範学校1名の計979名の学生、教職員が犠牲となる
昭和 3 (1928年)	・長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源）		
4. 2 (1929年)	・長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称		
3	・長崎高等商業学校に貿易別科設置		
12	・長崎医科大学附属野母臨海実験所落成		
10. 4 (1935年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称		
12. 4 (1937年)	・長崎県師範学校、西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地）		

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

21. 4 (1946年)	・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称	29. 4 (1954年)	・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所、同風土病研究所と改称	30. 4 (1955年)	・経済学部にて経済学専攻科設置
22. 3 (1947年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止		・医学部に講座制施行
5	・長崎高等学校（旧制）設置		・大学院医学研究科設置
23. 4 (1948年)	・長崎青年師範学校に水産科再設置		・医学部に附属助産婦学校設置
24. 5 (1949年)	・国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により、旧制の長崎医科大学、長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校、長崎高等学校を包括し、学芸学部（甲類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科、乙類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科）、経済学部（経済学科、商学科）、医学部（医学科）、薬学部（薬学科）、水産学部（漁業学科、水産製造学科、水産増殖学科）の5学部にて附属図書館を置き、風土病研究所が附置され、学部附属の学校又は教育施設として、学芸学部にて小学校、中学校、幼稚園、医学部に病院、病院分院、看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置	31. 1 (1956年)	・補導部を学生部と改称
		4	・薬学部にて薬学専攻科設置
		35. 3 (1960年)	・長崎医科大学廃止
		4	・水産学部にて水産専攻科設置
		37. 4 (1962年)	・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置
		39. 4 (1964年)	・教養部設置（分校廃止）
			・水産学部にて附属練習船「長崎丸」設置
		40. 3 (1965年)	・薬学専攻科廃止
		4	・大学院薬学研究科設置
			・学芸学部にて学芸専攻科設置
		41. 4 (1966年)	・保健管理センター設置
			・工学部（機械工学科、電気工学科）設置
昭和25. 3 (1950年)	・長崎高等学校廃止		・学芸学部を教育学部と改称、これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称
5	・大村一般教養部、長崎一般教養部を統合して大村分校設置	42. 4 (1967年)	・教育学部に養護学校教員養成課程設置
			・薬学部にて製薬化学科設置
26. 3 (1951年)	・長崎大学商業短期大学部併設		・工学部に構造工学科設置
	・医学部附属看護学校設置	6	・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
	・長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校廃止		・水産学部にて附属水産実験所設置
6	・厚生補導部を補導部と改称	43. 4 (1968年)	・経済学部にて貿易学科設置
28. 3 (1953年)	・学芸学部が長崎市大橋町に移転（現在の文教キャンパス）	44. 4 (1969年)	・工学部に土木工学科設置
4	・水産学部にて専攻科（特設専攻科）設置	12	・電子計算機室設置

45. 4 (1970年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止） ・大学院水産学研究科設置 ・工学部に材料工学科設置 	51. 4 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置（機械工学・電気工学・構造工学・材料工学） ・工学研究科に工業化学専攻設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置
46. 2 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置） 	52. 4 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置 ・商業短期大学部商業学科を商経学科（経済・法律専攻、経営情報専攻）と改称
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部に附属養護学校設置 ・経済学部商学科を経営学科と改称 ・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置 ・工学部に工学専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置 	53. 3 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> ・R Iセンター設置 ・工学部に機械工学第二学科設置
47. 4 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に工業化学科設置 	54. 4 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称
5	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部に附属薬用植物園設置 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理センター設置（電子計算機室廃止）
48. 4 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止
49. 4 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止）
50. 4 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置 	55. 4 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部に附属病院創設準備室設置
6	<ul style="list-style-type: none"> ・排水等分析センター設置 	56. 4 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に電子工学専攻設置
		57. 4 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組
		58. 4 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置

59. 4 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部（看護学科）併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組 	平成元. 5 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置 	2. 4 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組
61. 4 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組） ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止） 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・6地域共同研究センター設置
6	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置 	3. 4 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止 ・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組
9	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止） 	4. 4 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> ・アイソトープ総合センター設置（R Iセンター廃止） ・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称
62. 4 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置 ・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置 	5. 4 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習教育研究センター設置
63. 4 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行 ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組 ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止） 	6. 4 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育学研究科設置 ・教育専攻科廃止 ・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称 ・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組
		7. 4 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院経済学研究科設置 ・経済学専攻科廃止 ・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称
		8. 5 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止）
		9. 4 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）

10	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止） ・環境科学部（環境科学科）設置 ・教養部廃止 ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施） 	13. 4 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組 ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止） ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組
10. 4 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組 ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置 ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組 ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止） 	10 14. 4 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に保健学科設置 ・大学院環境科学研究科設置 ・大学院医歯薬学総合研究科設置 ・大学教育機能開発センター設置 ・アドミッションセンター設置 ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組 ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
11. 4 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称 ・副学長の設置（学生部長の廃止） ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止） 	15. 4 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組 ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行）
12. 4 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専修及び理科教育専修設置 ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置 ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置 ・遺伝子実験施設設置 ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止 	10 16. 4 (2004年)	<ul style="list-style-type: none"> ・先導生命科学支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止） ・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合） ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置 ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置 ・水産学部の水産専攻科廃止 ・知的財産本部設置 		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止） ・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター、機器分析センター及び環境保全センターの廃止） 	21. 4 (2009年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止） ・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組 ・医学部・歯学部附属病院を病院に改組
17. 4 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・評価本部設置 ・国際連携研究戦略本部設置 ・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止） ・心の教育総合支援センター設置（時限設置） ・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進センター設置（時限設置） ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置 ・広報戦略本部設置 ・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置 ・先端計算研究センター設置
18. 2 (2006年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科廃止 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組 ・工学部7学科（機械システム工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、構造工学科、社会開発工学科、材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組 ・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組） ・熱帯医学研究所3部門を4部門（病原体解析、宿主病態解析、環境医学、臨床研究）に改組 ・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組 ・心の教育総合支援センターの廃止
4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置 ・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組 	23. 4 (2011年)	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院歯学研究科廃止 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携戦略本部設置（産学官連携機構、知的財産本部、共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携機構設置 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進戦略室設置
19. 2 (2007年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科廃止 ・大学院環境科学研究科廃止 	24. 1 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> ・先端創薬イノベーションセンター設置
20. 4 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組 ・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置 ・大学院国際健康開発研究科設置 		

4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（博士前期・後期）設置 ・大学院医学研究科廃止 ・言語教育研究センター設置 ・核兵器廃絶研究センター設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産・環境科学総合研究科環境科学専攻（博士前期課程）の設置（環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻の改組） ・インスティテューショナル・リサーチ室の設置 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育連携・支援センター設置 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進センターをダイバーシティ推進センターに改組
25. 4 (2013年)	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆後障害医療研究所設置（大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設を改組） 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進本部の設置
7	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の廃止（熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の機能を先導生命科学研究支援センター動物実験施設へ集約化） 	28. 4 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医歯薬学総合研究科災害・被災医療科学共同専攻（修士課程）の設置 ・医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻（博士課程）の設置 ・原子力災害対策戦略本部の設置 ・海洋未来イノベーション機構の設置
8	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい学生支援室の設置 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターを海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターに改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教育リエゾン機構の設置（留学生センターの廃止） ・大学教育イノベーションセンターの設置（大学教育機能開発センター及びアドミッションセンターの統合） 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の医療・教育センターの設置
26. 4 (2014年)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進戦略本部の設置（研究推進戦略室の廃止） ・多文化社会学部の設置 ・教育学研究科教職実践専攻の改組（教育学研究科教科実践専攻を教職実践専攻に一本化） ・ICT基盤センターの設置（情報メディア基盤センターの廃止） ・福島未来創造支援研究センターの設置 	29. 4 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育総合支援センターの設置（地域教育連携・支援センター及び教育学部附属教育実践総合センターの統合） ・生命医科学域の設置 ・感染症共同研究拠点の設置
9	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆後障害医療研究所に附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター設置 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・医歯薬学総合研究科に附属先進予防医学研究センター設置
27. 4 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科（修士課程）の設置（医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻及び国際健康開発研究科の改組） 	30. 1 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> ・インスティテューショナル・リサーチ推進本部の設置（インスティテューショナル・リサーチ室の廃止） ・国際健康開発研究科の廃止
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（修士課程）の設置
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）及び長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）の設置 ・先端計算研究センターの廃止 ・生産科学研究科の廃止

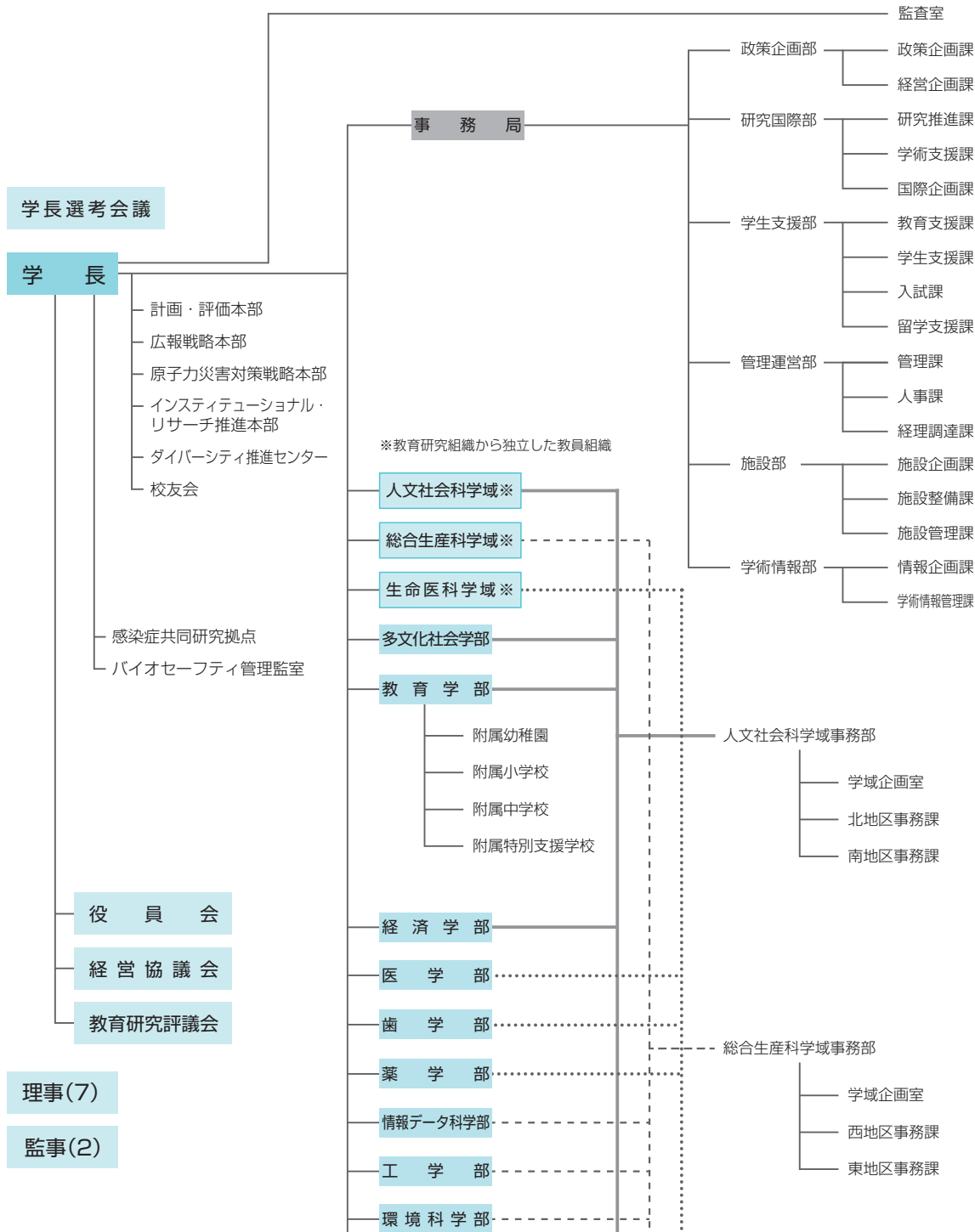
- 7 ・グローバル連携機構，研究開発推進機構，留学生教育・支援センター及び環境保全センターの設置（国際連携研究戦略本部，産学官連携戦略本部，研究推進戦略本部及び国際教育リエゾン機構の改組）
- 10 ・校友会の設置
- 31. 4 (2019年) ・人文社会科学域及び総合生産科学域の設置
- 令和元.10 (2019年) ・キャリアセンターの設置
- 2. 4 (2020年) ・情報データ科学部の設置
- 7 ・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）の設置
- 7 ・教育開発推進機構の設置（大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組）

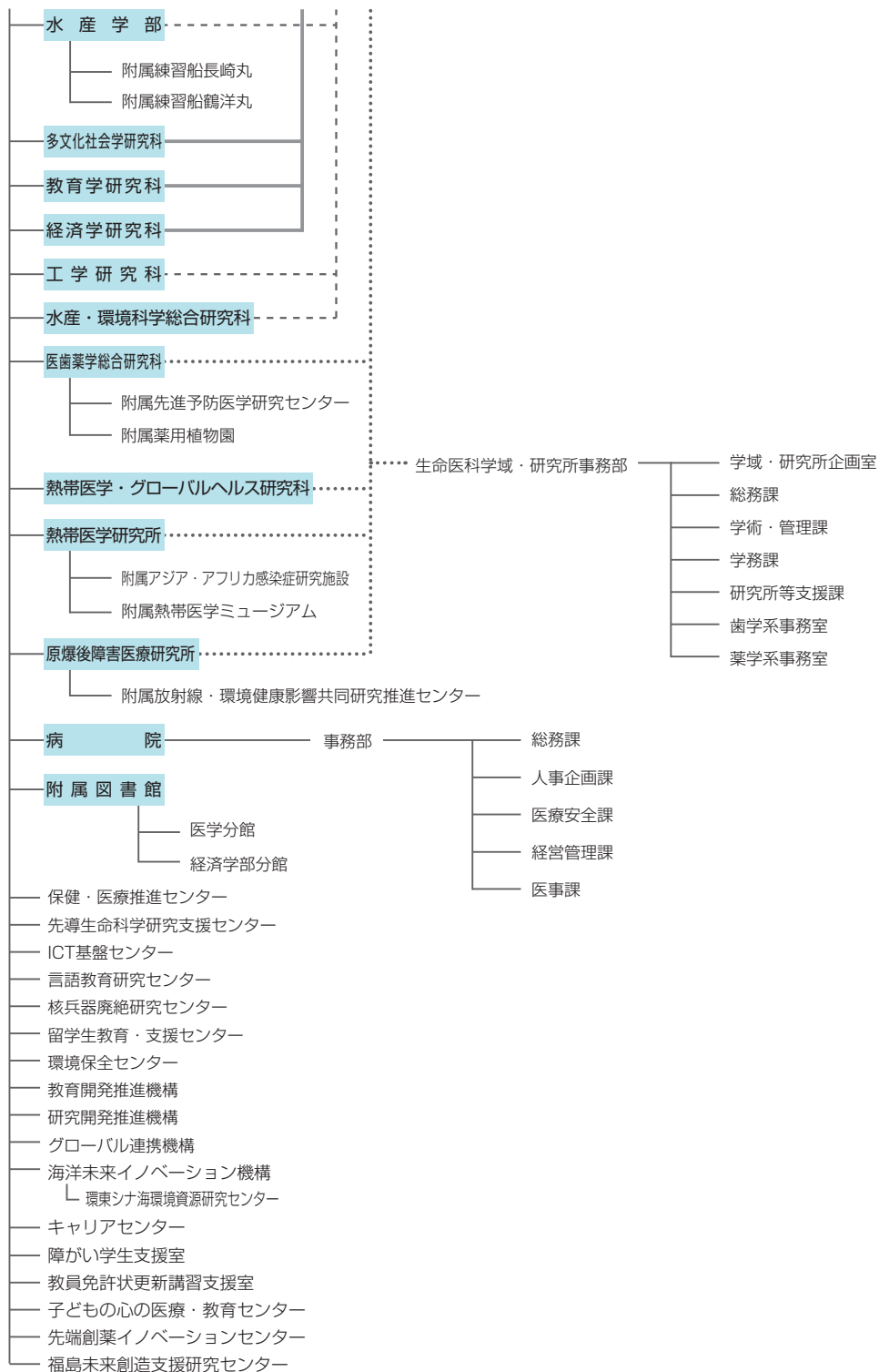


組 織

機 構 図

2020. 7. 1





歴代学長

初代	高瀬 清	(任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日)
(事務取扱)	池田 晋吾	(任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日)
第2代	古屋野 宏平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第3代	北村 精一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第4代	和泉 成之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第5代	後藤 敏郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日)
(事務取扱)	栗原 道徳	(任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日)
第6代	中塚 正行	(任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日)
(事務取扱)	保田 正人	(任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日)
第7代	具島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第8代	福見 秀雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第9代	保田 正人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第10代	土山 秀夫	(任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日)
第11代	横山 哲夫	(任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日)
第12代	池田 高良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第13代	齋藤 寛	(任期：平成14年10月11日～平成20年10月10日)
第14代	片峰 茂	(任期：平成20年10月11日～平成29年9月30日)
第15代	河野 茂	(任期：平成29年10月1日～現在)

役員会構成員

2020. 5. 1

議長	河野 茂	学長	永安 武	理事 (研究・国際担当)
	福永 博俊	理事 (総務担当)	赤石 孝次	理事 (社会連携・学生担当)
	横町 直明	理事 (財務担当)	中尾 一彦	理事 (病院担当)
	塚元 和弘	理事 (教学担当)	才木 邦夫	理事 (広報担当)

学長選考会議委員

2020. 5. 1

議長	永田 泉	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長	深浦 厚之	経済学部長
	杉田 亮毅	株式会社日本経済新聞社参与	前村 浩二	医学部長
	武田 敏明	長崎市副市長	尾野村 治	薬学部長
	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構理事長	萩原 篤志	水産学部長
	鶴田 栄次	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 (長崎県高等学校長協会会長)	松田 浩	工学研究科長
	西 亮	滲透工業株式会社代表取締役社長	福永 博俊	理事
	門司 和彦	多文化社会学部長	横町 直明	理事

経営協議会委員

2020. 5. 1

議長	河野 茂	学長	片山 仁志	株式会社長崎文献社代表取締役社長
	福永 博俊	理事	杉田 亮毅	株式会社日本経済新聞社参与
	横町 直明	理事	武田 敏明	長崎市副市長
	永安 武	理事	田中 健一	公益社団法人瓊林会会長
	中尾 一彦	理事	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
	松元 浩一	教育学部長	鶴田 栄次	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 (長崎県高等学校長協会会長)
	深浦 厚之	経済学部長	永田 泉	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長
	前村 浩二	医学部長	西 亮	滲透工業株式会社代表取締役社長
	萩原 篤志	水産学部長	平田 研	長崎県副知事
	松田 浩	工学研究科長	広岡 敦子	住友化学株式会社顧問
			安田 尚代	安田外国法事務弁護士事務所外国法事務弁護士

教育研究評議会評議員

2020. 5. 1

議長	河野 茂	学長	萩原 篤志	水産学部長、水産・環境科学総合研究科長
	福永 博俊	理事	滝澤 克彦	多文化社会学研究科長
	横町 直明	理事、事務局長	松田 浩	工学研究科長
	塚元 和弘	理事	川上 純	医歯薬学総合研究科長
	永安 武	理事	北 潔	熱帯医学・グローバルヘルス研究科長
	赤石 孝次	理事、人文社会科学域長	森田 公一	熱帯医学研究所長
	中尾 一彦	理事、病院長	宮崎 泰司	原爆後障害医療研究所長
	才木 邦夫	理事	増崎 英明	附属図書館長
	門司 和彦	多文化社会学部長	吉田 文彦	核兵器廃絶研究センター長
	松元 浩一	教育学部長	森口 勇	総合生産科学域長
	深浦 厚之	経済学部長	西田 教行	生命医学科学域長
	前村 浩二	医学部長	澤井 照光	医学部保健学科長
	村田比呂司	歯学部長	西野 友哉	保健・医療推進センター長
	尾野村 治	薬学部長	阪倉 良孝	副学長
	西井 龍映	情報一夕科学部長	夢田 彰秀	副学長
	岡田 二郎	環境科学部長		

役職員

2020.7.1

役員	
学長	河野 茂
理事（総務担当）	福永 博俊
理事（財務担当）	横町 直明
理事（教学担当）	塚元 和弘
理事（研究・国際担当）	永安 武
理事（社会連携・学生担当）	赤石 孝次
理事（病院担当）	中尾 一彦
理事（広報担当）（非常勤）	才木 邦夫
監事	渡辺 敏則
監事（非常勤）	平松喜一郎
執行役員 人文社会科学域担当	赤石 孝次
執行役員 総合生命科学域担当	森口 勇
執行役員 生命医科学域担当	西田 教行

副学長	
計画評価担当	中山 守雄
産学連携担当	山本 郁夫
情報担当	小林 透
学生担当	井上 徹志
入試担当	阪倉 良孝
地域教育連携担当	中村 典生
国際交流担当	冨田 彰秀
環境・施設担当	中村 聖三
ダイバーシティ推進担当	吉田 ゆり
高大接続・入試広報担当	浜田 久之
感染症共同研究拠点・核兵器廃絶研究・ プラネタリーヘルス担当	調 漸

学長特別補佐・学長補佐	
BSL-4 施設設置計画担当	信濃 正範
学長補佐	深尾 典男
学長補佐	津留崎和義
学長補佐	一瀬 邦弘
学長補佐	宮崎 拓郎
学長補佐	近藤智恵子

計画・評価本部	
本部長	河野 茂

広報戦略本部	
本部長	宮 一則
広報戦略課長／校友会・基金室長	本田 靖幸

原子力災害対策戦略本部	
本部長	中尾 一彦
事務局長	高比良 治

インスティテューショナル・リサーチ推進本部	
本部長	河野 茂

ダイバーシティ推進センター	
センター長	吉田 ゆり

感染症共同研究拠点	
拠点長	喜田 宏
高度安全実験（BSL-4）施設設置準備室長	安田 二郎
総務部門担当課長	佐々木敬一

監査室	
室長	松尾 正則

事務局	
事務局長	横町 直明
政策企画部長	大谷 智
政策企画課長	池野 和樹
経営企画課長	岩田 怜桜
研究国際部長	竹内 新
研究推進課長	一橋 透
学術支援課長	高柳 忠和
国際企画課長	増田 美紀
学生支援部長	上田 祐介
教育支援課長	品川 幸夫
学生支援課長	田中 宏智
キャリア支援室長	橋口 洋二
入試課長	堀 和也
留学支援課長	尾下 徳彦
管理運営部長	能住 徳弘
管理運営部次長	志茂 弘明
管理課長	笹田 健太
人事課長	北村 寿朗
経理調達課長	原 善達
施設部長	岡野 公嘉
施設企画課長	安藤 豊幸
施設整備課長	中村 拓郎
施設管理課長	藤井 淳志
学術情報部長	森山 美香
情報企画課長	土田 徹
学術情報管理課長	上野 宏

学部等	
人文社会科学域事務部	
人文社会科学域事務部長	清川 聖一
学域企画室長	清川 聖一
北地区事務課長	清川 聖一
南地区事務課長	佐藤 千夏

総合生産科学域事務部	
総合生産科学域事務部長	満本 眞一
学域企画室長	満本 眞一
西地区事務課長	富田 高廣
東地区事務課長	浜崎 英彦

生命医科学域・研究所事務部	
生命医科学域・研究所事務部長	千北 茂
学域・研究所企画室長	千北 茂
総務課長	深堀 久幸
学術・管理課長	土橋 一徳
学務課長	近藤 廣任
研究所等支援課長	松尾 眞
歯学系事務室長	松尾 孝文
薬学系事務室長	吉田 恭二

多文化社会学部	
多文化社会学部長	門司 和彦

教育学部	
教育学部長	松元 浩一
附属幼稚園長	室野亜津子
附属小学校長	千布 本広
附属中学校長	山田 喜彦
附属特別支援学校長	田中 昭二
経済学部	
経済学部長	深浦 厚之
医学部	
医学部長	前村 浩二
歯学部	
歯学部長	村田比呂司
薬学部	
薬学部長	尾野村 治
情報データ科学部	
情報データ科学部長	西井 龍映
工学部	
工学部長	松田 浩
環境科学部	
環境科学部長	岡田 二郎
水産学部	
水産学部長	萩原 篤志
附属練習船長崎丸船長	森井 康宏
附属練習船鶴洋丸船長	青島 隆
大学院	
多文化社会学研究科長	滝澤 克彦
教育学研究科長	松元 浩一
経済学研究科長	深浦 厚之
工学研究科長	松田 浩
水産・環境科学総合研究科長	萩原 篤志
医歯薬学総合研究科長	川上 純
附属先進予防医学研究センター長	川上 純
附属薬用植物園長	尾野村 治
熱帯医学・グローバルヘルス研究科長	北 潔
附置研究所	
熱帯医学研究所長	森田 公一
附属アジア・アフリカ感染症研究施設長	森田 公一
附属熱帯医学ミュージアム館長	奥村 順子
原爆後障害医療研究所長	宮崎 泰司
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター長	宮崎 泰司
病院	
病院長	中尾 一彦
副病院長	
総務	尾崎 誠
安全	松尾 孝之
診療	酒井 英樹
経営	辻野 彰
人事	迎 寛
歯科統括	澤瀬 隆

看護統括	小淵美樹子
事務統括・事務部長	熊谷 圭司
総務課長	本田 秀史
人事企画課長	吉岡 裕敏
医療安全課長	梅嶋 敬三
経営管理課長	吉井 孝博
医事課長	島田 邦博
附属図書館	
附属図書館長	増崎 英明
医学分館長	原 哲也
経済学部分館長	南森 茂太
保健・医療推進センター	
センター長	西野 友哉
学内共同教育研究施設	
先導生命科学研究支援センター長	吉浦孝一郎
ICT基盤センター長	小林 透
言語教育研究センター長	西原 俊明
核兵器廃絶研究センター長	吉田 文彦
留学生教育・支援センター長	冨田 彰秀
環境保全センター長	中村 聖三
教育開発推進機構	
機構長	塚元 和弘
研究開発推進機構	
機構長	永安 武
グローバル連携機構	
機構長	永安 武
海洋未来イノベーション機構	
機構長	武田 重信
環東シナ海環境資源研究センター長	征矢野 清
キャリアセンター	
センター長	井上 徹志
障がい学生支援室	
室長	赤石 孝次
教員免許状更新講習支援室	
室長	松元 浩一
子どもの心の医療・教育センター	
センター長	田中 悟郎
先端創薬イノベーションセンター	
センター長	田中 義正
福島未来創造支援研究センター	
センター長	赤石 孝次
人文社会科学域	
学域長	赤石 孝次
総合生産科学域	
学域長	森口 勇
生命医科学域	
学域長	西田 教行

役員・職員数

2020. 7. 1

(人)

部局	区分	役員・職員											小計	その他の職員	合計			
		学長	理事	監事	執行役員	副学長	学長特別補佐	学長補佐	教授	准教授	講師	助教				助手	教諭	
バイオセーフティ管理監室								1								1		1
計画・評価本部								1								1		1
広報戦略本部								2								2	7	9
原子力災害対策戦略本部																0	2	2
イノベーション・リサーチ推進本部																0	1	1
ダイバーシティ推進センター												1				1	1	2
多文化社会学部																0	3	3
教育学部																0	1	1
附属幼稚園															7	7	7	
附属小学校															30	30	30	
附属中学校															26	26	26	
附属特別支援学校															27	27	27	
経済学部																0	1	1
医学部																0	1	1
水産学部																0		0
附属練習船長崎丸								1	1		3					5	15	20
附属練習船鶴洋丸										2	1					3	13	16
工学研究科																0	38	38
医歯薬学総合研究科																0	22	22
熱帯医学・グローバルヘルス研究科								10	4		8					22	3	25
熱帯医学研究所								13	7	1	22					43	2	45
附属アジア・アフリカ感染症研究施設								1			2					3		3
附属熱帯医学ミュージアム								1								1	1	2
原爆後障害医療研究所								11	3	1	19					34	2	36
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター								1	1		3					5	1	6
病院								14	18	54	182	26				294	1,438	1,732
附属図書館								1								1		1
保健・医療推進センター									3		3					6	10	16
先端生命科学支援センター								2	1		2					5	5	10
ICT基盤センター								1	3							4		4
言語教育研究センター								7	3	1	7					18		18
核兵器廃絶研究センター								3	1							4	3	7
留学生教育・支援センター										3						3		3
環境保全センター									1							1	1	2
教育開発推進機構								5	2		2					9	1	10
研究開発推進機構								3	4		2					9	13	22
グローバル連携機構								1	1		1					3	1	4
海洋未来イノベーション機構								2	1							3	1	4
環東シナ海環境資源研究センター								2	1		2					5	3	8
キャリアセンター								1	1							2		2
障がい学生支援室											1					1	3	4
教員免許状更新講習支援室																0	2	2
先端創薬イノベーションセンター								1								1		1
人文社会科学域								58	77	2	11					148		148
総合生産科学域								78	94		28	1				201		201
生命医科学域								87	81	16	124					308		308
事務局		1	(1)6	(1)1	[3]	[18]	[1]	[5]							(2) ⁸ [27]	217	(2) ²²⁵ [27]	
人文社会科学域事務局																0	45	45
総合生産科学域事務局																0	43	43
生命医科学域・研究所事務局																0	67	67
監査室																0	3	3
感染症共同研究拠点								7	2		3					12	12	24
総計		1	(1)6	(1)1	[3]	[18]	[1]	[5]	315	315	75	427	27	90	(2) ⁸ [27] _{1,257}	1,982	(2) ²²⁵ [27] _{3,239}	

理事(1)、監事(1)は、非常勤役員で外数。執行役員[3]、副学長[18]、学長特別補佐[1]及び学長補佐[5]は教育職員または理事の兼務で内数。



教育研究等

学 部		
学 部	学科・課程	講 座
多文化社会学部 1 学科 5 コース	多文化社会学科	国際公共政策 社会動態 共生文化 言語コミュニケーション オランダ特別
教育学部 1 課程 3 講座	学校教育教員養成課程	義務教育開発 中等教育 人間発達
経済学部 1 学科 5 コース	総合経済学科	経済と政策 グローバル経済 ファイナンス 経営と会計 総合経済（夜間主）
医学部 2 学科 6 学科目	医学科	基礎医学 社会医学 臨床医学
	保健学科	看護学 理学療法学 作業療法学
歯学部 1 学科	歯学科	
薬学部 2 学科	薬学科	
	薬科学科	
情報データ科学部 1 学科	情報データ科学科	
工学部 1 学科 6 コース	工学科	機械工学 電気電子工学 情報工学 構造工学 社会環境デザイン工学 化学・物質工学
環境科学部 1 学科 2 学系	環境科学科	人間社会環境 環境保全設計
水産学部 1 学科 4 講座	水産学科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学

大学院

研究科	課 程	専 攻
多文化社会学研究科	博士前期課程 博士後期課程	多文化社会学専攻
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻
経済学研究科	博士前期課程	経済経営政策専攻
	博士後期課程	経営意思決定専攻

研究科	課程	専攻
工学研究科	博士前期課程	総合工学専攻
	博士後期課程	生産システム工学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	グリーンシステム創成科学専攻
水産・環境科学 総合研究科	博士課程 (前期)	水産学専攻 環境科学専攻
	博士課程 (後期)	環境海洋資源学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	海洋フィールド生命科学専攻
医歯薬学 総合研究科	修士課程	保健学専攻 災害・被ばく医療科学共同専攻
	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻
	博士課程 (前期・後期)	生命薬科学専攻
熱帯医学・グローバル ヘルス研究科	博士前期課程	グローバルヘルス専攻
	博士後期課程	グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻

学 年 暦

4月	1日(水) 学年始	12月	12月22日(火)～1月3日(日) 冬季休業
	2日(木) 入学式	1月	
5月	31日(日) 開学記念日	2月	
6月		3月	3月21日(日)～4月1日(木) 春季休業
7月			25日(木) 卒業式
8月	8月8日(土)～9月27日(日) 夏季休業	3月	31日(水) 学年終
9月	28日(月) 後期授業開始		
10月	10月31日(土)～11月1日(日) 学園祭		
11月			



附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所

研究部門および研究分野	総合目標
病原体解析部門 ウイルス学, 新興感染症学, 細菌学, 原虫学, 寄生虫学, 分子疫学 宿主病態解析部門 免疫遺伝学, 感染生化学, 病理学, エイズ・感染防御 環境医学部門 生態疫学, 国際保健学, 国際健康開発政策学, 病書動物学 臨床研究部門 臨床感染症学, 小児感染症学, 臨床開発学 シオノギグローバル感染症連携部門 細胞環境構築学, 分子感染ダイナミクス解析, 免疫病態制御学, 創薬探索研究 アジア・アフリカ感染症研究施設 熱帯医学ミュージアム	1. 熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2. 研究成果の応用による熱帯病の防圧ならびに健康増進への国際貢献 3. 上記に係る研究者と専門家の育成

附置研究所 原爆後障害医療研究所

研究部門（研究分野）	目的
放射線リスク制御部門 放射線分子疫学, 国際保健医療福祉学, 放射線災害医療学, 放射線生物・防護学, 健康リスク学 細胞機能解析部門 幹細胞生物学, 分子医学 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学, 腫瘍・診断病理学, アイントープ診断治療学 ゲノム機能解析部門 人類遺伝学, ゲノム修復学 附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター 共同研究推進部 資料収集保存・解析部 資料調査室 生体材料保存室	放射線健康リスク評価とリスクコミュニケーション 細胞機能の側面からの放射線人体影響の基礎研究 被爆者医療 遺伝子の側面からの放射線人体影響の基礎研究 放射線に関する共同研究の推進

附属図書館

蔵書数

2020.4.1

館名	図書数			雑誌の種類		
	和漢書	洋書	計	和文	欧文	計
中央図書館	451,912	140,489	592,401	11,397	3,401	14,798
医学分館	83,944	72,672	156,616	3,914	3,205	7,119
経済学部分館	193,600	83,885	277,485	3,790	1,151	4,941
計	729,456	297,046	1,026,502	※17,638	※7,351	※24,989

※雑誌の種類は3館合計の重複数を除いた数を計上

利用状況（令和元年度）

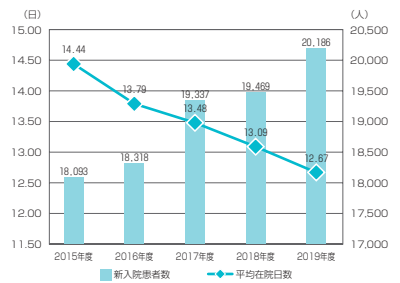
館名	区分	教職員	学生	その他	計
中央図書館	入館者数	8,962	360,602	11,892	381,456
	貸出冊数	5,898	49,081	2,368	57,347
医学分館	入館者数	8,529	133,256	2,963	144,748
	貸出冊数	2,892	8,783	420	12,095
経済学部分館	入館者数	4,036	41,630	3,260	48,926
	貸出冊数	2,712	6,825	387	9,924
計	入館者数	21,527	535,488	18,115	575,130
	貸出冊数	11,502	64,689	3,175	79,366

病 院

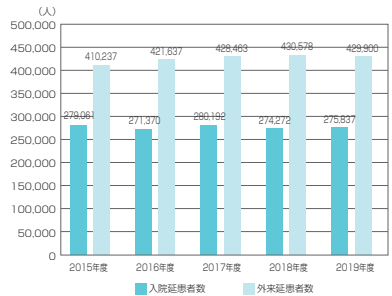
■診療データ（2019年度）

病床稼働率（%）			86.35	
平均在院日数（日）			12.67	
新入院患者数（人）			20,186	
初診の患者数（人）			24,687	
患者数（人）	入院	全体	入院延患者数 一日平均	275,837 754
		医科	入院延患者数 一日平均	270,618 739
		歯科	入院延患者数 一日平均	5,219 14
	外来	全体	外来延患者数 一日平均	429,900 1,791
		医科	外来延患者数 一日平均	328,734 1,370
		歯科	外来延患者数 一日平均	101,166 422
手術件数（件）			13,360	
麻酔件数〈全身麻酔〉（件）			7,956	
救急外来患者数（人）			5,318	
ヘリコプターによる患者搬送数（件）			138	
分娩件数（件）			347	
臓器移植 手術件数 （件）	ドナー（脳死による提供）		0	
	レシ ピ エ ン ト	肺	脳死 生体	4 1
		肝	脳死 生体	5 11
		腎	脳死 献腎（心停止下） 生体	3 0 6
		脾	脳死 生体	2 0

新入院患者数と平均在院日数



患者数（入院・外来）



■病床数（2020年4月1日現在）

	(床)
一般病床	827
精神病床	39
結核病床	6
感染症病床	2
計	874

教育学部附属学校・園

2020.5.1 (人)

区 分	学級区分	学 年		学 級 数	学級定員	総 定 員	現 員	
附属幼稚園	3歳児	三年保育		1	20	20	24	
		二年保育			40	60	19	
	4歳児	三年保育		2	20		24	
	5歳児	二年保育		2	40	60	25	
		三年保育			20		21	
	計				5		140	113
附属小学校	普通学級		1	3	30	90	90	
			2	3	30	90	89	
			3	3	30	90	85	
			4	3	30	90	88	
			5	3	30	90	82	
			6	3	30	90	87	
	複式学級		1	1	16	16	8	
			2				8	
			3				7	
			4	1	16	16	7	
			5				7	
			6	1	16	16	8	
計				21		588	566	
附属中学校	普通学級		1	4	35	140	144	
			2	4	35	140	142	
			3	4	35	140	141	
	計				12		420	427
附属 特別支援 学 校	普通学級 (2学年複式)	小学部	1		1	6	18	2
			2					3
			3		1	6		3
			4					3
			5		1	6		3
			6					3
	普通学級	中学部	1		1	6	18	4
			2		1	6		6
			3		1	6		6
	普通学級	高等部	1		1	8	24	7
			2		1	8		8
			3		1	8		8
計				9		60	56	

保健・医療推進センター

2020.5.1 (人)

職員 数	センター 長 授	准 教 授	助 教	保 健 師	カ ウ ン セ ラ ー	事 務 員	計	学 校 医	
								婦 人 科	歯 科
	[1]	3	3 [1]	3	5	2	16 [2]	1	1

備考 保健・医療推進センター（相談日）…毎日（平日のみ）
 （注）〔 〕は併任を示し外数

長崎大学教育研究プロジェクト拠点

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学アフリカ海外教育研究拠点	ケニア共和国ナイロビ市	アフリカにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学東南アジア海外教育研究拠点	ベトナム社会主義共和国ハノイ市	東南アジアにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
ケニアプロジェクト拠点	ケニア共和国ナイロビ市（ケニア中央医学研究所内）	
ベトナムプロジェクト拠点 ニャチャン分室	ベトナム社会主義共和国ハノイ市（国立衛生疫学研究所内） ベトナム社会主義共和国ニャチャン市（カンファ県衛生局内）	熱帯病・新興感染症研究プロジェクトの推進
チェルノブイリプロジェクト拠点	ベラルーシ共和国ミンスク市（ベラルーシ卒業後教育医学アカデミー内）	放射線健康リスク制御国際戦略拠点プログラムの推進
五島離島・へき地医療プロジェクト拠点	長崎県五島市（長崎県五島中央病院内）	寄附講座（離島・へき地医療学講座）の設置に関する協定書に基づく事業の推進
地域包括ケア教育研究拠点	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	老年医学及び地域包括ケアシステムに係る教育研究活動の推進
先進予防医学教育研究拠点	長崎県五島市（福江総合福祉保健センター内）	先進予防医学に係るコホート研究及び教育活動の推進
長崎大学・川内村復興推進拠点	福島県双葉郡川内村（川内村役場内）	福島県川内村との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・富岡町復興推進拠点	福島県双葉郡富岡町（富岡町健康づくり課内）	福島県富岡町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
平戸臨床教育プロジェクト拠点	長崎県平戸市（国民健康保険平戸市民病院内）	大学発病院再生による地域医療人育成事業の推進
外来医療教育拠点	長崎県長崎市（済生会長崎病院内及び長崎記念病院内、光晴会病院内） 長崎県佐世保市（石坂脳神経外科内） 長崎県南松浦郡新上五島町（長崎県上五島病院内） 長崎県島原市（長崎県島原病院内及び済家会柴田長庚堂病院内）	長崎県における医療人の育成及び定着の推進
長崎医療人育成拠点	長崎県長崎市（長崎記念病院内及び済生会長崎病院内、長崎みなとメディカルセンター内） 長崎県佐世保市（北松中央病院内）	地域中核病院の医師不足及び看護師不足の解消並びに人材育成事業の推進
救急・国際医療支援拠点	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	長崎市内における安定した救急医療体制の整備及び医療人材の育成並びに安心できる医療環境の実現
遠隔病理育成拠点	千葉県鴨川市（亀田総合病院内）	ICTを用いた病理学従事者及び学生の教育並びにその効果的な体制に関する研究の推進

国際交流推進室

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学在ライデン国際交流推進室	オランダ王国ライデン市（シーボルトハウス財団内）	オランダにおける長崎大学の教育・研究及び文化交流の推進
長崎大学－済州大学校交流推進室	大韓民国済州市（済州大学校内）	済州大学校との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－上海海洋大学交流推進室	中華人民共和国上海市（上海海洋大学内）	上海海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－国立台湾海洋大学交流推進室	台湾基隆市（国立台湾海洋大学内）	国立台湾海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－カントー大学交流推進室	ベトナム社会主義共和国カントー市（カントー大学内）	カントー大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－フランス原子力防護評価研究所交流推進室	フランス共和国フォントネー＝オー＝ローズ市（フランス原子力防護評価研究所内）	フランス原子力防護評価研究所との共同研究の推進



特色ある教育・研究

特色ある教育

課題解決型高度医療人材養成プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
放射線健康リスク科学人材養成プログラム (長崎大学〈代表校〉, 広島大学ほか1大学〈連携校〉)	医学部	平成28～ 令和2年度

多様な新ニーズに対する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

取組名称	取組部局	取組期間
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン (九州大学〈代表校〉, 長崎大学ほか8大学〈連携校〉)	医歯薬学総合研究科	平成29～ 令和3年度

大学の世界展開力強化事業

取組名称	取組部局	取組期間
日中韓の大学間連携によるインフラストラクチャーを支える人材育成事業	工学研究科	平成28～ 令和2年度
日露の大学間連携による災害・被災者医療科学分野におけるリーダー育成事業 (長崎大学〈代表校〉, 福島県立医科大学〈連携校〉)	医歯薬学総合研究科, 熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 多文化社会学研究科, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科	平成29～ 令和3年度

卓越大学院プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム	熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 多文化社会学研究科, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科	平成30～ 令和6年度
アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文教育プログラム (千葉大学〈代表校〉, 長崎大学ほか10機関〈連携機関〉)	多文化社会学研究科	令和2～7年度

特色ある研究

■ 第三期中期目標・中期計画における重点研究課題

採択年度	研究課題名	代表者名(部局)
平成28～令和3年度	次世代エネルギー関連技術に向けた革新的物質科学研究拠点	森口 勇 (工学研究科)
	近未来の海洋環境変動に対するトラフグを基軸とした海洋生態系機能の把握と活用	山口 敦子 (水産・環境科学総合研究科)
	個別がん医療のトランスレーショナル・リサーチ実践を目指した基盤構築	池田 裕明 (生命医科学域)
平成29～令和3年度	自己筋芽細胞シートを用いた消化器再生医療と腹腔鏡デバイス開発	江口 晋 (生命医科学域)
	感染症・放射線障害を中心とするアカデミア創薬の基盤構築と推進	武田 弘資 (生命医科学域)
	「リスク社会」を生き続けるための人文社会科学の超域的 研究拠点形成	滝澤 克彦 (多文化社会学部)
	地域の水循環社会創成を目指した文理融合型研究	中川 啓 (水産・環境科学総合研究科)

■ 文部科学省科学技術人材育成費補助金

採択年度	プログラム名
平成27～令和2年度	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)
平成28～令和3年度	卓越研究員事業



学生数等

学生数

学 部

2020.5.1 (人)

学 部	学 科 ・ 課 程	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	現 員						計	
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
多文化 社会学部	多文化社会学科	100	—	400	101	113	101	133	—	—	448	
教育学部	学校教育教員養成課程	180	—	900	180	242	240	267	—	—	929	
経 済 学 部	総 合 経済学科	昼間コース	265	—	1,060	271	272	282	327	—	—	1,152
		夜間主コース	60	—	240	60	63	62	93	—	—	278
	計	—	15	30	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	325	15	1,330	331	335	344	420	—	—	1,430	
医 学 部	医 学 科	120	5	739	122	129	135	134	121	124	765	
	保 健 学 科	106	10	444	118	96	106	105	—	—	425	
	計	226	15	1,183	240	225	241	239	121	124	1,190	
歯学部	歯 学 科	50	—	300	50	51	53	52	53	49	308	
薬学部	薬 学 科	40	—	240	44	39	42	40	39	46	250	
	薬 科 学 科	40	—	160	42	40	43	50	—	—	175	
	計	80	—	400	86	79	85	90	39	46	425	
隣7-外邦	情報データ科学科	110	—	110	116	—	—	—	—	—	116	
工学部	工 学 科	330	—	1,470	330	407	391	457	—	—	1,585	
環境科学部	環 境 科 学 科	130	5	530	136	130	139	174	—	—	579	
水産学部	水 産 学 科	110	—	440	112	113	118	135	—	—	478	
合 計		1,641	35	7,063	1,682	1,695	1,712	1,967	213	219	7,488	

大学院

2020.5.1 (人)

研究科	修士・博士前期課程						博士・博士後期課程							
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
多文化社会学研究科	10	20	10	12	—	22	3	3	4	—	—	—	—	4
経済学研究科	15	30	11	19	—	30	3	9	2	3	8	—	—	13
工学研究科	220	440	214	225	—	439	20	70	19	11	22	1	7	60
水産・環境科学総合研究科	60	120	44	70	—	114	17	61	11	12	19	1	3	46
医歯薬学総合研究科	66	132	62	67	—	129	105	410	106	94	105	257	—	562
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	37	62	35	37	—	72	10	30	9	11	—	—	—	20
計	408	804	376	430	—	806	158	583	151	131	154	259	10	705

研究科	専門職学位課程					
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
教育学研究科	28	56	36	19	3	58
計	28	56	36	19	3	58

研究生・科目等履修生等 (延べ人数)

2020.5.1 (人)

学部等	区分	研究生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
多文化社会学部		6	1	10	
教育学部・教育学研究科		4		12	2
経済学部・経済学研究科		4	1	9	
医学部		1		1	
歯学部			1		
薬学部		1			
工学部		1	3		
環境科学部		3			
水産学部				2	
工学研究科					6
医歯薬学総合研究科					1
水産・環境科学総合研究科		2			1
多文化社会学研究科		4			
熱帯医学・グローバルヘルス研究科		1			
留学生教育・支援センター				19	
計		27	6	53	10

令和2年度入学者状況

学 部

2020.5.1 (人)

学 部	区 分	入 学 定 員	入 学 志 願 者	入 学 者
多文化社会学部		100	282 ※8	99 ※2
教育学部		180	626 ※3	178 ※2
経済学部	昼間コース	265	755 ※33	264 ※7
	夜間主コース	60	119	60
医学部		226	899	226
歯学部		50	254	50
薬学部		80	385 ※1	86
情報データ科学部		100 ※10	364 ※13	110 ※6
工学部		330	838 ※15	327 ※3
環境科学部		122 ※8	362 ※14	129 ※7
水産学部		110	430 ※7	111 ※1
計		1,623 ※18	5,314 ※94	1,640 ※28

※は外国人留学生で外数

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分

2020.5.1 (人)

学部	区 分	長 崎 県	九州地区 (長崎県を除く)	中国 四国地区	近畿地区	中部地区	関東地区	東北 北海道地区	外国・ 大検等	計
多文化社会学部		21	55	9	7	3	1	3	0	99
教育学部		99	61	7	2	3	5	0	1	178
経済学部		109	182	8	20	0	4	1	0	324
医学部		89	87	16	10	8	11	4	1	226
歯学部		7	9	10	15	4	4	1	0	50
薬学部		13	45	10	5	3	7	2	1	86
情報データ科学部		47	52	3	6	2	0	0	0	110
工学部		121	172	15	9	5	5	0	0	327
環境科学部		45	63	8	4	2	6	1	0	129
水産学部		17	19	18	24	13	14	6	0	111
計		568	745	104	102	43	57	18	3	1,640

大学院

2020.5.1 (人)

研究科	区 分	入 学 定 員	春季入学志願者	春季入学者 (令和2年4月)	(※参考) 秋季入学者 (令和元年10月)
多文化社会学研究科	博士前期	10	10 ※13	6 ※4	—
	博士後期	3	5 ※7	2 ※2	—
教育学研究科	専門職学位	28	42 ※1	36 ※0	—
経済学研究科	博士前期	15	4 ※12	4 ※7	—
	博士後期	3	2 ※0	2 ※0	—
工学研究科	博士前期	220	232 ※20	196 ※14	0 ※4
	博士後期	15	3 ※7	3 ※7	3 ※2
	博士(5年一貫制)	5	3 ※1	3 ※1	—
水産・環境科学総合研究科	博士前期	60	52 ※5	38 ※5	0 ※1
	博士後期	12	3 ※5	2 ※5	0 ※4
	博士(5年一貫制)	5	0	0	0
医歯薬学総合研究科	修 士	30	41 ※0	25 ※0	0 ※6
	博 士	95	80 ※14	74 ※14	5 ※5
	博士前期	36	29 ※1	28 ※1	1 ※1
	博士後期	10	6 ※1	6 ※1	1 ※0
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	博士前期	37	—	—	18 ※17
	博士後期	10	—	—	3 ※6
計		594	512 ※87	425 ※61	31 ※46

※は外国人留学生で外数

令和元年度卒業生(修了者)及び進路状況

学部卒業生

(人)

学 部	令和元年度	累 計
多文化社会学部	82	214
教育学部	229	18,555
経済学部	昼間コース	280
	夜間主コース	67
医学部	239	8,431
歯学部	45	2,042
薬学部	75	4,747
工学部	351	16,582
環境科学部	118	2,699
水産学部	104	6,309
合 計	1,590	78,102

大学院修了者

2020.3.31 (人)

大 学 院	令和元年度	累 計
多文化社会学研究科	9	9
教育学研究科	28	841
経済学研究科	17	325
工学研究科	249	1,779
水産・環境科学総合研究科	55	475
医歯薬学総合研究科	145	2,371
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	30	91
医学研究科		1,294
歯学研究科		149
薬学研究科		924
工学研究科		1,758
環境科学研究科		46
水産学研究科		616
海洋生産科学研究科		245
生産科学研究科		2,881
国際健康開発研究科		72
合 計	533	13,876

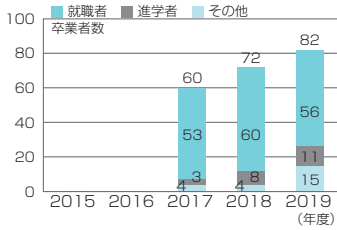
進路状況

2020.5.1 (人)

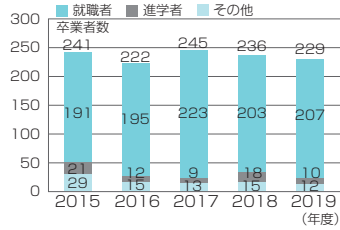
進路		学部								
		教化社会学部	教育学部	経済学部	医学部保健学科	薬学部	工学部	環境科学部	水産学部	合 計
就 職	卒業生数	82	229	280	109	75	351	118	104	1,348
	就職希望者数	56	210	264	90	41	125	90	59	935
	就職者数	56	207	261	88	40	124	88	59	923
	就職率(%)	100.0	98.6	98.9	97.8	97.6	99.2	97.8	100.0	98.7
	農林漁業	0	1	0	0	0	0	0	7	8
	建設業	0	1	15	0	0	26	3	2	47
	製造業	10	3	34	0	0	37	16	14	114
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	2	0	0	1	3	2	8
	情報通信・運輸業・郵便業	5	6	41	0	0	15	11	4	82
	卸売業・小売業	11	4	25	0	19	1	6	12	78
	金融業・保険業	6	3	41	0	0	1	6	1	58
	不動産業・物品賃貸業	0	3	7	0	0	0	3	0	13
	学術研究・専門・技術サービス	4	1	13	0	4	15	7	0	44
	宿泊業・飲食サービス業	1	1	5	0	0	0	0	0	7
	生活関連サービス業・娯楽業	3	2	3	0	0	0	1	1	10
	教育・学習支援事業	1	150	6	1	0	0	1	2	161
	職	医療・福祉	1	19	5	87	10	0	2	1
複合サービス事業		1	0	2	0	0	0	1	0	4
サービス(他に分類されない)		8	6	12	0	1	6	9	0	42
公務		5	7	50	0	6	22	19	11	120
分類不能		0	0	0	0	0	0	0	2	2
進学者数	11	10	3	17	32	217	23	38	351	
その他	15	12	16	4	3	10	7	7	74	

過去5年間の進路状況の推移

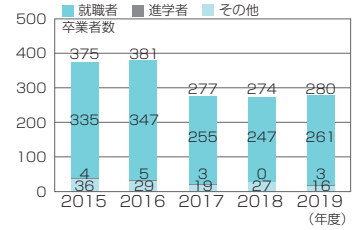
多文化社会学部



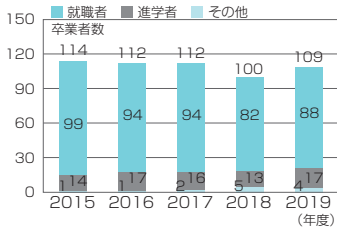
教育学部



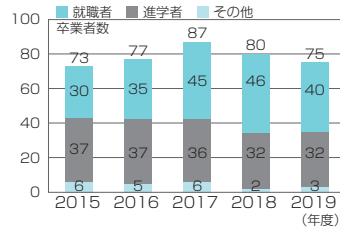
経済学部



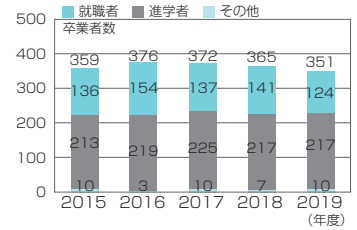
医学部保健学科



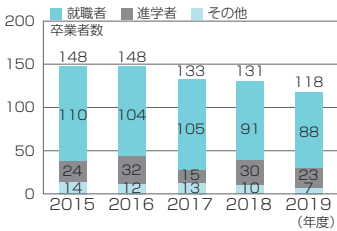
薬学部



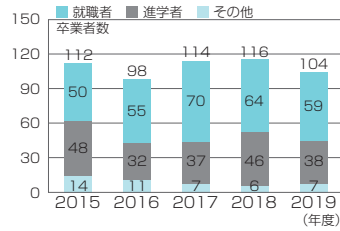
工学部



環境科学部



水産学部



学位授与数

2020.3.31 (人)

博士の種類	課程修了		論文		旧制授与数
	令和元年度	累計	令和元年度	累計	
学術	3	213		30	
経営学	2	28			
医学	65	2,191	3	1,843	1,347
歯学	9	329		99	
薬学	5	181		37	
薬科学	8	40			
臨床薬学		13			
工学	18	382	1	58	
水産学	3	87	2	20	
環境科学	3	36		5	
海洋科学	2	8			
合計	118	3,508	6	2,092	1,347

(人)

修士の種類	令和元年度	累計
学術	14	90
教育学		584
経済学	5	148
経営学	10	149
熱帯医学	7	129
看護学	17	126
理学療法	8	78
作業療法	5	46
薬学		1,096
薬科学	28	308
臨床薬学		209
工学	231	5,443
水産学	22	1,172
環境科学	17	391
公衆衛生学	13	115
医科学	10	34
海洋科学		1
合計	387	10,119

修士の種類	令和元年度	累計
教職修士 (専門職)	28	257



国際交流

令和2年度外国人留学生

部局別内訳

2020.5.1 (人)

区分 学部等	学部学生	大学院生	研究生等	計	区分 学部等	学部学生	大学院生	研究生等	計
	多文化社会学部	4		17 (1)		21 (1)	水産学部	4	
教育学部	3		13	16	多文化社会学研究科		12	4 (1)	16 (1)
経済学部	25		14	39	教育学研究科			5 (3)	5 (3)
医学部			2	2	経済学研究科		17 (1)		17 (1)
歯学部			1	1	工学研究科		62 (6)	6	68 (6)
薬学部	1 (1)		1	2 (1)	水産・環境科学総合研究科		47 (8)	2	49 (8)
情報データ科学部	6			6	医歯薬学総合研究科		100(20)	1	101(20)
工学部	37		1	38	熱帯医学・グローバルヘルス研究科		40 (6)	1 (1)	41 (7)
環境科学部	24		2	26	留学生教育・支援センター			19	19
					計	104 (1)	278(41)	91 (6)	473(48)

() は国費留学生を内数で示す。

国・地域別内訳

(人)

区分 国・地域名	学部学生	大学院生	研究生等	計	区分 国・地域名	学部学生	大学院生	研究生等	計
	エジプト・アラブ共和国		8 (3)			8 (3)	アンゴラ共和国		1 (1)
ブルネー・ダルサラーム国		1		1	ベラルーシ共和国		2 (2)		2 (2)
ブルキナファソ			1 (1)	1 (1)	カメルーン共和国		2		2
コンゴ民主共和国		13 (2)		13 (2)	コートジボワール共和国		1		1
エチオピア連邦民主共和国		2 (1)		2 (1)	ガーナ共和国		8	1 (1)	9 (1)
ドイツ連邦共和国			1	1	インドネシア共和国		2 (1)		2 (1)
ナイジェリア連邦共和国		4	1 (1)	5 (1)	カザフスタン共和国		12 (1)		12 (1)
フランス共和国			1	1	ケニア共和国		6		6
バハニューギニア独立国		1 (1)		1 (1)	大韓民国	37	8	2	47
イラン・イスラム共和国		4 (1)		4 (1)	パラグアイ共和国		1		1
イタリア共和国			1	1	ルワンダ共和国		1		1
バーレーン王国		1 (1)		1 (1)	南アフリカ共和国		1 (1)		1 (1)
ベルギー王国			1	1	ガンビア共和国		1		1
ブータン王国		1		1	フィリピン共和国		5 (3)	1	6 (3)
カンボジア王国		6		6	ミャンマー連邦共和国		17 (7)		17 (7)
レソト王国		1		1	ザンビア共和国		1		1
スペイン王国		1		1	ジンバブエ共和国		1		1
タイ王国		4		4	ベトナム社会主義共和国		27 (9)		27 (9)
オランダ王国			1 (1)	1 (1)	シリア・アラブ共和国		2 (2)		2 (2)
ラオス人民民主共和国		7 (1)		7 (1)	台湾	1	8	10	19
マレーシア	6	2 (1)		8 (1)	南スーダン共和国		1		1
モンゴル国	1 (1)	1		2 (1)	スーダン共和国		1		1
アルジェリア民主人民共和国			1	1	英国			3	3
ハンガリー人民共和国		7 (3)	2 (2)	9 (5)	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国				
中華人民共和国	59	105	62	226	メキシコ合衆国			2	2
					計	104 (1)	278(41)	91 (6)	473(48)

() は国費留学生を内数で示す。国名はアルファベット順。

海外の大学等との学術交流協定締結状況

2020. 5. 1

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
1	中華人民共和国	福建省疾病预防控制中心	医歯薬学総合研究科	2008
2		復旦大学	医歯薬学総合研究科	2009
3		福州大学	工学研究科	1992
4		中国海洋大学	水産・環境科学総合研究科	1997
5		中国薬科大学	医歯薬学総合研究科	1998
6		福建医科大学	医歯薬学総合研究科	2001
7		同济大学	工学研究科	2001
8		大連海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2003
9		第四軍医科大学	医歯薬学総合研究科	2003
10		香港浸會大学	薬学部	2014
11		北京師範大学	教育学部	2004
12		新疆医科大学	医歯薬学総合研究科	2005
13		上海財經大学	経済学部	2013
14		中南大学	医歯薬学総合研究科	2006
15		東北師範大学	教育学部	2007
16		上海海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2007
17		上海師範大学	教育学部	2007
18		華東師範大学	多文化社会学部	2007
19		集美大学	水産・環境科学総合研究科	2007
20		天津科技大学	留学生教育・支援センター	2007
21		吉林大学	多文化社会学部	2008
22		江蘇省血吸虫病防治研究所	熱帯医学研究所	2010
23		中国医科大学	熱帯医学研究所	2010
24		山東大学	工学研究科	2010
25		山東科技大学	工学研究科	2010
26		浙江海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2011
27		西南財經大学	経済学部	2012
28		広州医学院	医歯薬学総合研究科	2013
29		揚州大学	水産・環境科学総合研究科	2014
30		香港教育大学	多文化社会学部	2015
31		大連医科大学	医歯薬学総合研究科	2016
32		南昌大学	医歯薬学総合研究科	2016
33		上海交通大学医学院	(医学部・歯学部)	2016
34		上海外国語大学	経済学部	2016
35		西北大学	多文化社会学部	2017
36		陝西師範大学	多文化社会学部	2017

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
37	中華人民共和国	華南理工大学	医歯薬学総合研究科	2018
38		天津師範大学	多文化社会学部	2018
39		北京外国語大学	多文化社会学部	2018
40		大連理工大学	工学研究科	2018
41		中国社会科学院大学	多文化社会学部	2019
42		広東外語外貿大学	経済学部	2019
43		青島大学	医歯薬学総合研究科	2019
44		上海理工大学	水産・環境科学総合研究科	2020
45	台湾	国立陽明大学	医歯薬学総合研究科	2002
46		淡江大学	水産・環境科学総合研究科	2004
47		国立高雄科技大学	水産・環境科学総合研究科	2018
48		国立台湾海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2005
49		台北荣民総医院	医歯薬学総合研究科	2017
50		高雄医学大学	医歯薬学総合研究科	2006
51		国立政治大学	多文化社会学部	2009
52		国立台湾大学	多文化社会学部	2010
53		国立台湾師範大学	多文化社会学部	2012
54		行政院農業委員会水産試験所	水産・環境科学総合研究科	2012
55		台北医学大学	医歯薬学総合研究科	2013
56		成功大学	多文化社会学部	2015
57		国立東華大学	経済学部	2016
58		国立高雄大学	多文化社会学部	2016
59		亜洲大学	多文化社会学部	2017
60		国立海洋科技博物館	水産・環境科学総合研究科	2018
61		国立嘉義大学	水産・環境科学総合研究科	2018
62		国立中興大学	水産・環境科学総合研究科	2019
63		三軍総医院	医歯薬学総合研究科	2019
64		中国文化大学	多文化社会学部	2019
65	大韓民国	濟州大学校	工学研究科	1988
66		釜慶大学校	水産・環境科学総合研究科	1988
67		江原大学校	工学研究科	2002
68		晋州保健大学校	医歯薬学総合研究科	2002
69		昌原大学校	教育学部	2002
70		全南大学校	水産・環境科学総合研究科	2002
71		仁荷大学校	留学生教育・支援センター	2003
72		漢陽大学校	教育学部	2003
73		韓国海洋科学技術院	水産・環境科学総合研究科	2004
74		慶北大学校	教育学部	2004

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
75	大韓民国	梨花女子大学校	留学生教育・支援センター	2006
76		成均館大学校	工学研究科	2006
77		慶熙大学校	留学生教育・支援センター	2006
78		ハーリム大学校	医歯薬学総合研究科	2007
79		ソウル大学校	医歯薬学総合研究科	2007
80		国立釜山大学校	医歯薬学総合研究科	2007
81		嶺南大学校	工学研究科	2008
82		新羅大学校	教育学部	2008
83		韓国教員大学校	教育学部	2010
84		全北大学校	工学研究科	2010
85		中央大学校	経済学部	2012
86		韓信大学校	核兵器廃絶研究センター	2013
87		慶尚大学校	医学部	2013
88		釜山カトリック大学校	医歯薬学総合研究科	2014
89		東国大学校	多文化社会学部	2014
90		亜洲大学校	多文化社会学部	2014
91		延世大学校（原州キャンパス）	多文化社会学部	2015
92		建国大学校	多文化社会学部	2015
93		韓国原子力医学院	医歯薬学総合研究科	2017
94	忠南大学校	原爆後障害医療研究所	2018	
95	モンゴル国	モンゴル国立医療科学大学	医歯薬学総合研究科	2008
96	タイ王国	チェンマイ大学	熱帯医学研究所	1990
97		チュラロンコン大学	医歯薬学総合研究科	2009
98		マヒドン大学	熱帯医学研究所	1999
99		タマサート大学	熱帯医学研究所	2006
100		タイ王国保健省医科学局	医歯薬学総合研究科	2006
101		カセサート大学経済学部	（多文化社会学部）	2014
102		泰日工業大学	グローバル連携機構	2018
103	インドネシア共和国	サムラトランギ大学	水産・環境科学総合研究科	1993
104		アイルランガ大学	熱帯医学研究所	2004
105		ブラウィジャヤ大学	水産・環境科学総合研究科	2008
106		ボルネオタラカン大学	水産・環境科学総合研究科	2010
107	インドネシア大学	水産・環境科学総合研究科	2015	
108	シンガポール共和国	シンガポール国立大学	医歯薬学総合研究科	2010
109	マレーシア	マレーシア科学大学	水産・環境科学総合研究科	1995
110		テイラーズ大学	多文化社会学部	2015
111		マレーシア・サバ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2017
112		マレーシアトレンガヌ大学	水産・環境科学総合研究科	2017

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
113	マレーシア	マラヤ大学	医歯薬学総合研究科	2019
114		マレーシア国民大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2019
115	ブルネイ・ダルサラーム国	ブルネイ・ダルサラーム大学	多文化社会学部	2015
116	フィリピン共和国	フィリピン大学ディリマン校	多文化社会学部	2001
117		セントルークス医療センター	熱帯医学研究所	2004
118		サンラザロ病院	熱帯医学研究所	2004
119		イースト大学	医歯薬学総合研究科	2005
120		フィリピン大学ピサヤ校	水産・環境科学総合研究科	2010
121		フィリピン大学マニラ校	熱帯医学研究所	2014
122		アテネオ・デ・マニラ大学	多文化社会学部	2015
123		フィリピン大学ロスバニョス校	経済学部	2017
124	ベトナム共和国	国立衛生疫学研究所	熱帯医学研究所	2001
125		カントー大学	水産・環境科学研究科	2012
126		バクマイ病院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2016
127		ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学	工学研究科	2018
128		ハノイ医科大学	医歯薬学総合研究科	2019
129		ベトナム国家土木大学	工学研究科	2020
130	ミャンマー連邦共和国	ミャンマー国保健省医育管理局・医学研究局	医歯薬学総合研究科	2007
131		マンダレー工科大学	工学研究科	2015
132		ヤンゴン工科大学	工学研究科	2015
133		パテイン大学	水産・環境科学総合研究科	2016
134	カンボジア王国	クラチ工科大学	水産・環境科学総合研究科	2019
135	バングラデシュ人民共和国	BRAC大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2008
136		イスラム大学	医歯薬学総合研究科	2015
137	インド	インド情報・設計・生産技術大学カンチープラム校	情報データ科学部	2018
138		インド工科大学カラグプル校	情報データ科学部	2019
139	オーストラリア連邦	エディスコワン大学	多文化社会学部	2012
140		サンシャインコースト大学	多文化社会学部	2014
141		サザンクロス大学	多文化社会学部	2014
142		クイーンズランド工科大学	多文化社会学部	2014
143		ウエスタンシドニー大学	多文化社会学部	2015
144		ディーキン大学	水産・環境科学総合研究科	2015
145	アメリカ合衆国	サウス・カロライナ大学	水産・環境科学総合研究科	1992
146		ミシガン州立大学	医歯薬学総合研究科	2007
147		ハワイ大学マノア校	水産・環境科学総合研究科	2007
148		ミネソタ州立大学マンケイト校	言語教育研究センター	2011
149		カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校	経済学部	2012
150		モンタナ大学	医学部	2013

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
151	アメリカ合衆国	カリフォルニア州立大学モンレーベイ校	多文化社会学部	2014
152		ベネディクティン大学	多文化社会学部	2014
153		ノーザン州立大学	多文化社会学部	2014
154		ウエスタンイリノイ大学	多文化社会学部	2014
155		オターバイン大学	多文化社会学部	2014
156		アーカンソー工科大学	多文化社会学部	2014
157		ノーザンコロラド大学	多文化社会学部	2014
158		ニューヨーク州立大学ジェネセオ校	多文化社会学部	2014
159		ディキンソン州立大学	多文化社会学部	2015
160		ロングウッド大学	多文化社会学部	2015
161		ペンシルベニア州立大学インディアナ大学	多文化社会学部	2015
162		ノースイースタン・イリノイ大学	多文化社会学部	2015
163		プレスピテリアン・カレッジ	多文化社会学部	2015
164		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ	(環境科学部)	2015
165		フロストバーグ州立大学	多文化社会学部	2015
166		ノースカロライナ州立大学	医歯薬学総合研究科	2016
167		メトロポリタン州立大学	水産・環境科学総合研究科	2017
168		デラウェア大学	言語教育研究センター	2017
169		モラヴィアン・カレッジ	多文化社会学部	2018
170		カリフォルニア大学バークレイ校	水産・環境科学総合研究科	2018
171	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	医歯薬学総合研究科	2018	
172	カナダ	マニトバ大学	多文化社会学部	2014
173		ニューファンドランドメモリアル大学	多文化社会学部	2014
174		ウィニペグ大学	多文化社会学部	2014
175		カルガリー大学	多文化社会学部	2015
176		フレーザーバレー大学	多文化社会学部	2015
177		レスブリッジ大学	多文化社会学部	2015
178	メキシコ合衆国	メキシコ西部工科大学	多文化社会学部	2018
179	ペルー共和国	サン・マルティン・デ・ポレス大学	医歯薬学総合研究科	2016
180	イタリア共和国	トリノ工科大学	工学研究科	1997
181		ナポリ大学フェデリコII	工学研究科	1998
182		トレント大学	医歯薬学総合研究科	2014
183		カ・フォスカリ大学	経済学部	2014
184		ルイジ・ヴァンヴィテリ・カンパニア州大学	医歯薬学総合研究科	2016
185	ロンドン大学衛生熱帯医学大学院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2013	
186	英 (グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国)	ヘリオットワット大学	工学研究科	2014
187		エディンバラ大学	工学研究科	2014
188		オックスフォード・ブルックス大学	多文化社会学部	2015

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
189	英 (グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国)	ノーザンブリア大学	多文化社会学部	2015
190		アバディーン大学	多文化社会学部	2015
191		マンチェスター・メトロポリタン大学	多文化社会学部	2015
192		ハイランド&アイランド大学パース校	多文化社会学部	2015
193		キール大学	多文化社会学部	2015
194		スターリング大学	水産・環境科学総合研究科	2016
195		ポーツマス大学	経済学部	2017
196		ランカスター大学	水産・環境科学総合研究科	2018
197	ドイツ連邦共和国	ヴェルツブルク大学	医歯薬学総合研究科	2006
198		ヨハネス・ゲーテンベルク・マインツ大学	医歯薬学総合研究科	2010
199		ライブニッツ予防研究・疫学研究所	原爆後障害医療研究所	2014
200		マンハイム大学社会科学部	(多文化社会学部)	2015
201		ゲオルク・ジモン・オーム大学ニルンベルク	多文化社会学部	2015
202		アウクスブルク応用科学大学	多文化社会学部	2015
203		ホーフ応用科学大学	多文化社会学部	2015
204		ハインリッヒ・ハイネ大学	医歯薬学総合研究科	2017
205		ドルトムント工科大学化学・化学生物学部	(工学研究科)	2018
206		フィリップ大学マールブルク	工学研究科	2019
207	オランダ王国	ライデン大学	医歯薬学総合研究科、多文化社会学部	1998
208		ラドバウト大学	多文化社会学部	2016
209		デルフト工科大学機械・海洋・材料工学部	(工学研究科)	2016
210	ベルギー王国	アントワープ熱帯医学研究所	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2013
211		ゲント大学	経済学部、水産・環境科学総合研究科	2015
212		モンス大学	多文化社会学部	2015
213		ルーヴァン・カトリック大学 (KUルーヴァン) 文学部	(多文化社会学部)	2016
214	フランス共和国	オートアルザス大学ミュールーズ国立高等化学院	医歯薬学総合研究科	2005
215		ギメ東洋美術館	(附属図書館)	2012
216		ヨーロッパ・ビジネス・スクール パリ校	経済学部	2013
217		アンジェ大学	医歯薬学総合研究科	2013
218		パリ東＝クレティユ大学	多文化社会学部	2015
219		フランス原子力防護評価研究所	医歯薬学総合研究科	2016
220		ISCビジネススクールパリ校	経済学部	2017
221		ナント大学	医学部	2018
222		放射線防護・原子力安全研究所	医歯薬学総合研究科	2018
223		ブルゴーニュ大学	多文化社会学部	2018
224	スペイン王国	ポンティフィシア・コミージャス大学	工学研究科	2013
225		マラガ大学	多文化社会学部	2015
226		セビリア大学	多文化社会学部	2019

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
227		ポルト大学	医歯薬学総合研究科	2010
228	ポルトガル共和国	フェルナンドベソア大学	多文化社会学部	2015
229		新リスボン大学	多文化社会学部	2018
230	スウェーデン王国	ルンド大学工学部	(水産・環境科学総合研究科)	2015
231	ノルウェー王国	ノルウェー科学技術大学	水産・環境科学総合研究科	2006
232	ポーランド共和国	クラクフ経済大学	経済学部	2016
233		ワルシャワ経済大学	経済学部	2016
234	クロアチア	ザグレブ大学	グローバル連携機構	2018
235	ルーマニア	ブカレスト工科大学	工学研究科	2016
236	北マケドニア共和国	聖シリル・メソディウス大学	経済学部	2018
237		国立ベラルーシ医科大学	医歯薬学総合研究科	2001
238	ベラルーシ共和国	ゴメリ医科大学	医歯薬学総合研究科	2002
239		ベラルーシ卒業後教育医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	2008
240		セメイ医科大学	医歯薬学総合研究科	1998
241		カザフスタン放射線医学環境研究所	原爆後障害医療研究所	2002
242	カザフスタン共和国	アスフェンディヤーロフ・カザフ国立医科大学	医歯薬学総合研究科	2009
243		シズガノフ国立外科科学センター	医歯薬学総合研究科	2012
244		セメイ市核医療・腫瘍センター	原爆後障害医療研究所	2018
245		国立ウクライナ医学アカデミー V.P.コミサレンコ内分泌代謝研究所	原爆後障害医療研究所	2003
246	ウクライナ	国立ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究所	原爆後障害医療研究所	2003
247		ウクライナ放射線防護研究所	原爆後障害医療研究所	2012
248		ジトーミル州立コロステン市広域診断センター	医歯薬学総合研究科	2017
249		ロシア連邦保健省国立医学研究放射線センター附属 ツィーブ医学放射線研究センター	医歯薬学総合研究科	2002
250	ロシア連邦	国立メーチニコフ北西医科大学	医歯薬学総合研究科	2008
251		ロシア連邦保健省内分泌研究センター	医歯薬学総合研究科	2016
252		ケニヤッタ大学	医歯薬学総合研究科	2004
253	ケニア共和国	ケニア中央医学研究所	熱帯医学研究所	2004
254		ナイロビ大学	医歯薬学総合研究科	2010
255		ケニア国立海洋水産研究所	水産・環境科学総合研究科	2011
256		モイ大学	工学研究科	2012
257		マセノ大学	熱帯医学研究所	2013
258	南アフリカ共和国	南アフリカ国立感染症研究所	熱帯医学研究所	2010
259	タンザニア連合共和国	ムヒンビリ健康科学大学	医歯薬学総合研究科	2011
260		ザンジバル州立大学	多文化社会学部	2018
261	ザンビア共和国	ザンビア大学	医歯薬学総合研究科	2016
262	コンゴ民主共和国	キンシャサ大学	熱帯医学研究所	2016
263	ナイジェリア連邦共和国	ナイジェリア大学	熱帯医学研究所	2016
264		アフマド・ベロ大学	熱帯医学研究所	2019

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
265	エジプト・アラブ共和国	エジプト日本科学技術大学	熱帯医学研究所	2016
266	セーシェル共和国	セーシェル大学	経済学部	2016
267	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦大学	医学部	2015
268	イラン・イスラム共和国	テヘラン医科大学	医歯薬学総合研究科	2015
269	トルコ共和国	イスタンブールゲリシム大学	工学研究科	2015

※（ ）は部局間協定

教員の海外渡航及び外国人研究者受入数(令和元年度)

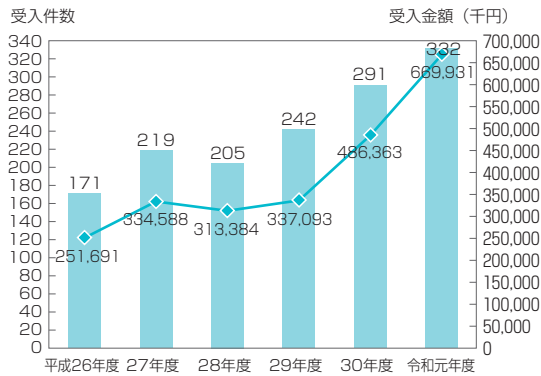
区 分		渡航者数	受入者数	区 分		渡航者数	受入者数			
アジア	中華人民共和国	126	21	ヨーロッパ	豪島(グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)	59	0			
	台湾	59	0		EU	フランス共和国	31	0		
	大韓民国	151	4			ドイツ連邦共和国	34	1		
	ASEAN諸国	フィリピン共和国	66		0		イタリア共和国	27	2	
		マレーシア	14		0		オランダ王国	26	1	
		タイ王国	71		1		その他の	101	3	
		インドネシア共和国	27		0		スイス連邦	10	0	
		ベトナム社会主義共和国	49		5		その他の	8	0	
		シンガポール共和国	28		0	ロシア諸	ロシア連邦	3	0	
		ミャンマー連邦共和国	38		1			ベラルーシ共和国	6	0
		その他の	32		0			カザフスタン共和国	6	0
その他の	45	2		その他の	4		0			
北中米	アメリカ合衆国	179	1	アフリカ	ケニア共和国	31	1			
	カナダ	26	0			南アフリカ共和国	4	1		
	その他の	10	0			その他の	41	11		
中東	アラブ首長国連邦	2	0	大洋州	オーストラリア連邦	23	1			
	その他の	2	0			その他の	3	0		
				合計		1,342	56			



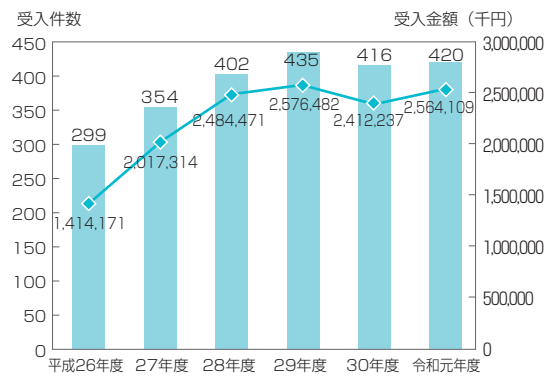
社会貢献

産学連携

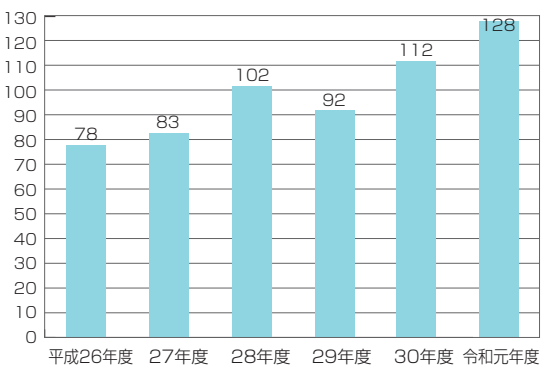
共同研究



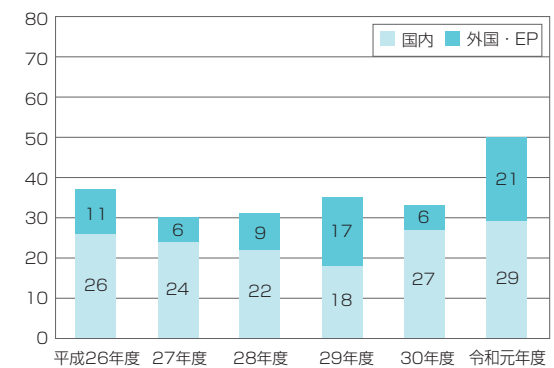
受託研究



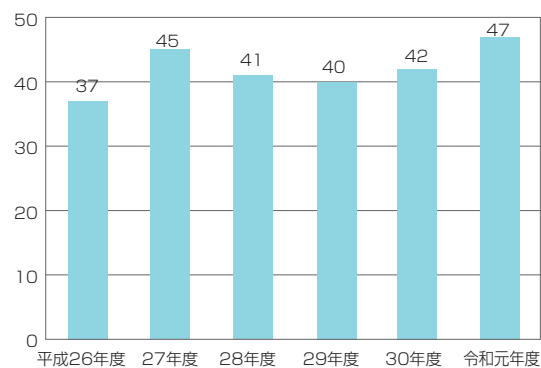
発明届件数



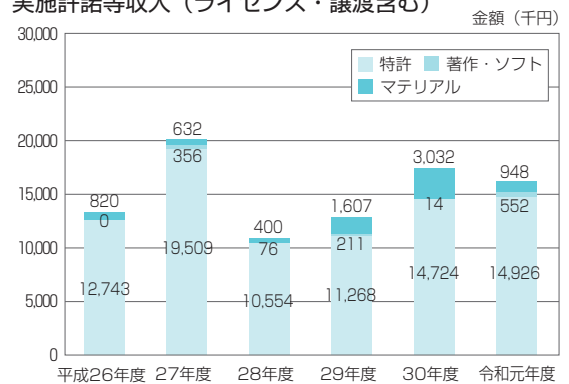
特許出願件数



実施許諾権利数



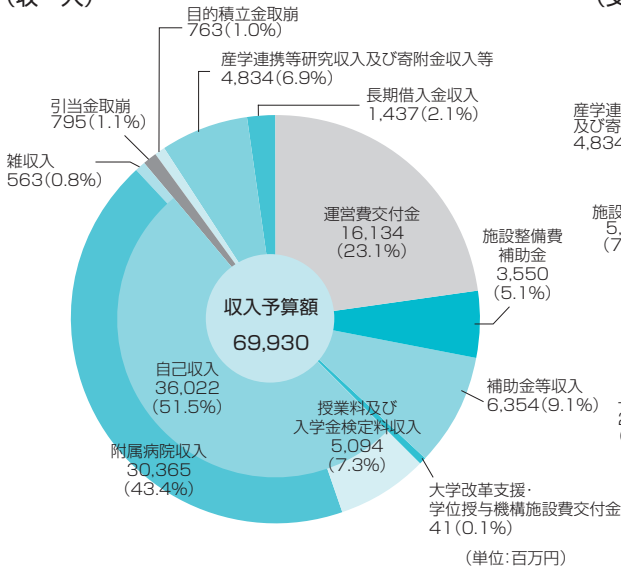
実施許諾等収入 (ライセンス・譲渡含む)



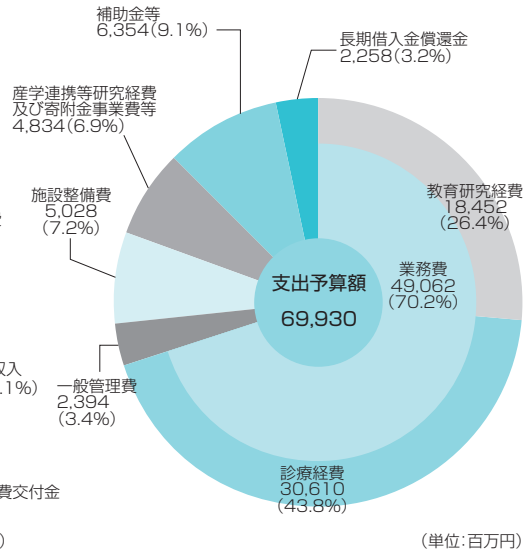


令和2年度予算額

(収 入)



(支 出)



外部資金等

■ 科学研究費助成事業

2020.5

研究種目	内定件数	予定額 (千円)
新学術領域研究	5	11,400
基盤研究 (S)	1	30,200
基盤研究 (A)	7	61,500
基盤研究 (B)	68	257,600
基盤研究 (C)	332	336,600
挑戦的研究 (開拓)	1	11,000
挑戦的研究 (萌芽)	9	38,700
若手研究	146	159,400
若手研究 (A)	1	4,900
若手研究 (B)	1	500
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	5	31,700
特別研究促進費	1	40,000
研究成果公開促進費	1	1,500
研究活動スタート支援	15	15,800
特別研究員奨励費	7	6,100
合 計	600	1,006,900

配分予定額は直接経費のみを示している。

■ 寄附金

令和元年度

件 数	金 額 (千円)
3,894	1,134,537

■ 受託研究経費

令和元年度

件 数	金 額 (千円)
420	2,564,109

■ 民間等との共同研究

令和元年度

件 数	金 額 (千円)
332	669,931



キャンパス

文教キャンパス

- 事務局
- 多文化社会学部
- 教育学部
- 薬学部
- 情報データ科学部
- 工学部
- 環境科学部
- 水産学部
- 附属図書館

- ① 時計台と大壁画
- ② 捕鯨砲
- ③ 若人の像
- ④ グローバル教育・学生支援棟
文教スカイホール
- ⑤ 長崎創楽堂(音楽棟1階)
- ⑥ 附属図書館(中央図書館)
ギャラリー
- ⑦ 下村脩名誉博士顕彰記念館
- ⑧ 附属薬用植物園
- ⑨ お薬の歴史資料館
- ⑩ 原爆慰霊碑
- ⑪ 三菱兵器製作所の碑
- ⑫ おもやい広場とピオトープ
- ⑬ ヒトツバタゴ
- ⑭ A&T Lab爽創館
- ⑮ 女性の銅像「風の中で」



坂本キャンパス ①

医学部(医学科)
 熱帯医学研究所
 原爆後障害医療研究所
 熱帯医学・グローバルヘルス研究科



- ① 良順会館
- ② ボンベのレリーフ
- ③ グビロが丘
- ④ ゲストハウス
- ⑤ 生協食堂
- ⑥ 被爆した門柱
- ⑦ 長崎大学医学ミュージアム
- ⑧ 近代医学史料展示室
- ⑨ 創立150周年ミュージアム
- ⑩ ボンベ会館
- ⑪ 原爆被災者慰霊碑
- ⑫ けやき通り
- ⑬ シーボルト記念碑
- ⑭ 原爆復興50周年記念碑
- ⑮ 永井千本桜
- ⑯ 薬専防空壕跡地の慰霊碑
- ⑰ レジデンスー精得館

坂本キャンパス ②

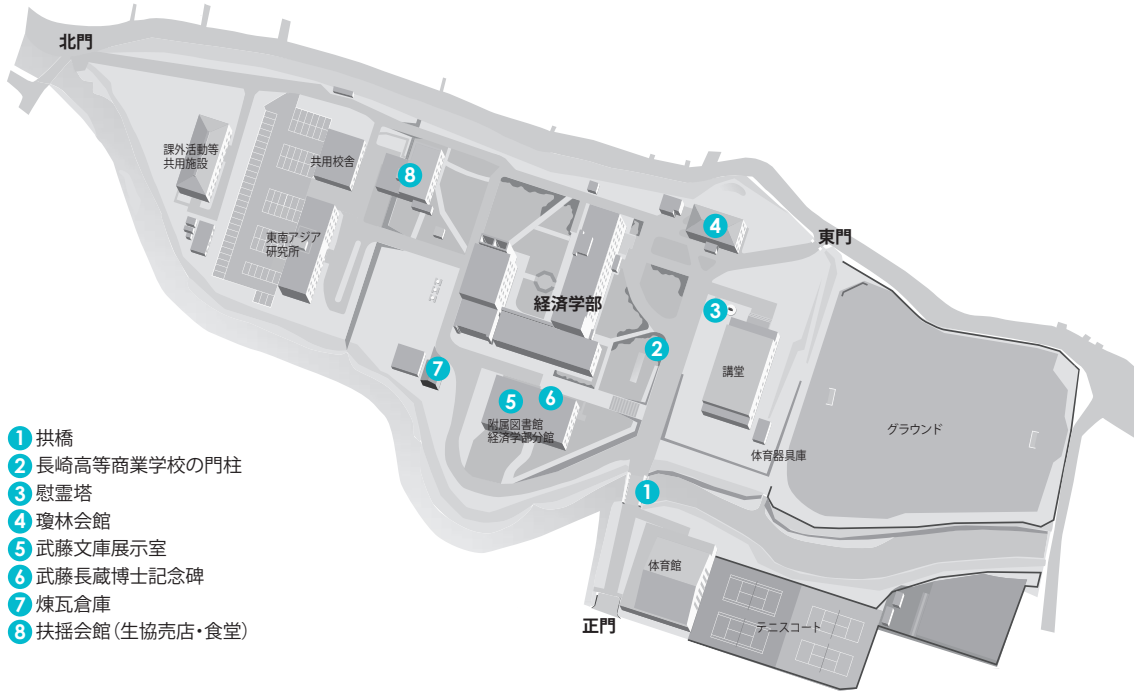
医学部 (保健学科)
 歯学部
 薬学部
 大学病院

- ① すかいらうんじ ぼんべ
- ② 水壺を捧げる子供の像
- ③ 被爆したクスノキ
- ④ 生協食堂
- ⑤ 院内ぎやらりー
- ⑥ コリドール
- ⑦ 長崎医科大学附属病院碑
- ⑧ コンビニ
- ⑨ 売店
- ⑩ コーヒーショップ
- ⑪ 郵便局



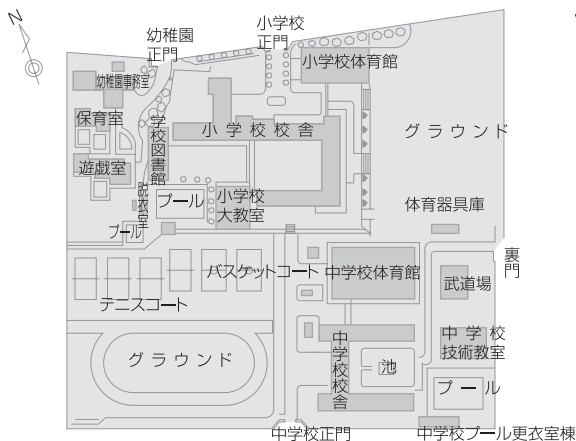
片淵キャンパス

経済学部

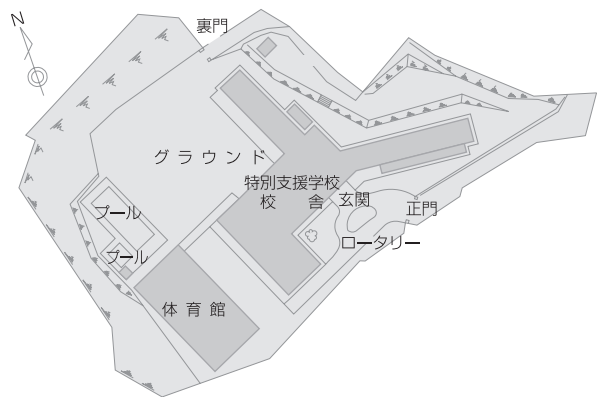


- ① 拱橋
- ② 長崎高等商業学校の門柱
- ③ 慰霊塔
- ④ 瓊林会館
- ⑤ 武藤文庫展示室
- ⑥ 武藤長蔵博士記念碑
- ⑦ 煉瓦倉庫
- ⑧ 扶搖会館 (生協売店・食堂)

附属学校 (幼稚園・小学校・中学校)



附属特別支援学校



厚生補導施設等

体育施設

地区名	施設名	体 育 館	弓 道 場	柔 道 場	剣 道 場	武 道 場	テ ニ ス コ ー ト	グ ラ ウ ン ド	バ レ ー コ ー ト	プ ー ル	ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	備 考
文教地区		2	1	1	1		8	1	2	1	1	・柔道場、剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・文教地区バレーコートはテニスコートと兼用
片淵地区		1					4	1				
坂本地区		2	1			1	2	1				
計		5	2	1	1	1	14	3	2	1	1	

その他主たる施設

名称	部局	場所	主な施設	主な事業	事業体
臨海研修所	学生支援部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿泊施設 食堂 ボート	学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション	長崎大学
課外活動 共用施設	//	文教町1-14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動	長崎大学
学生会館	//	//	就職支援・キャリア情報コーナー 共用談話室・集会室 和室・茶室 多目的室 食堂・喫茶 売店 美容室	就職情報の収集、提供、相談 学生の課外活動 食品販売 食堂・喫茶 書籍・日用品販売 美容	長崎大学 長崎大学生生活協同組合
学生プラザ	//	//	多目的ホール1 多目的ホール2	学生の課外活動	長崎大学
グローバル教育・ 学生支援棟	//	//	文教スカイホール	講義、講演会 学生の課外活動	長崎大学
学生交流プラザ	//	//	ｽﾏｰﾄﾓﾊﾞｲﾙｶﾞﾐﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	学生の課外活動	長崎大学
課外活動等 共用施設	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室 共用室 共有会議室 音楽練習室 制作室・暗室 研修室	学生の課外活動	長崎大学
坂本1団地地区 課外活動共用施設	医学部 医学科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	共用室 音楽練習室 室外器具庫	学生の課外活動	長崎大学
坂本2団地地区 課外活動共用施設	医学部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健学科構内	談話室 器具庫	学生の課外活動	長崎大学

名称	部局	場所	主な施設	主な事業	事業体
扶 揺 会 館	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室 食堂・売店	食堂・書籍・日用品販売	長崎大学 長崎大学生協同組合
福利厚生施設	医学部 医学科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談話室 食堂・売店	食堂 書籍・食品・日用品販売	長崎大学 長崎大学生協同組合
//	歯学部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内	学生自習室・ セミナー室・和室 食堂・売店	学生の課外活動 食堂 書籍・食品・日用品販売	長崎大学 長崎大学生協同組合
//	医学部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健 学科構内(2店舗)	食 堂 売 店	食 堂 日 用 品 販 売	長崎大学生協同組合

土地・建物・船舶

土地・建物

施設等	所在地	土地 (㎡)		建物 (㎡)	
		大学	借用	大学	借用
文教キャンパス	長崎市文教町1-14	187,125		41,351 121,127	
教職員施設(観月荘)	長崎市上西山町11-1, 11-13	903		228 399	
臨海研修所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,451	229	371 616	
教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校	長崎市文教町4-23	51,185		8,985 16,157	
教育学部附属特別支援学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		2,452 3,527	
片淵キャンパス	長崎市片淵4丁目2-1	51,723		6,840 16,422	
坂本キャンパス1	長崎市坂本1丁目12-4	92,176		20,404 63,264	
医学部納骨堂	長崎市銭座町4-59		48	13 13	
坂本キャンパス2	長崎市坂本1丁目7-1	86,807		31,757 169,386	
野母崎研究施設	長崎市野母町野母1321	15,899		448 448	
海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター	長崎市多以良町1551-7	10,900		1,688 2,648	
職員宿舎		22,434		2,600 11,335	1,106 3,304

施設等	所在地	土地 (㎡)		建物 (㎡)	
		大学	借用	大学	借用
国際交流会館	長崎市西町12-1	3,044		635	499
職員宿舎		3,008		1,837	1,300
国際学寮ホルテンシア	長崎市白鳥町8-77, 8-78		3,142		722
旧九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礪石原町甲1201	120,286		1,793	2,329
計		659,470	3,419	119,565	3,237
合計				409,508	9,184
合計			662,889	122,802	418,692

船舶

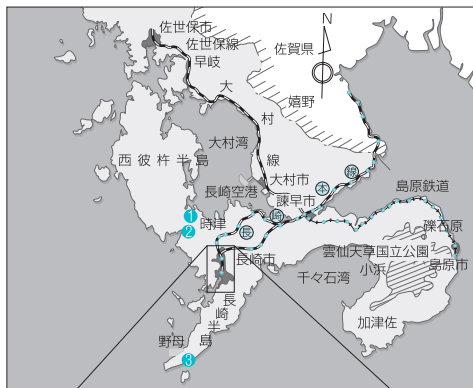
所属	船名	構成	総トン数	出力	備考
水産学部	長崎丸	鋼船	1,507.00	1,000kw×2	教員, その他の船員30名, 学生収容人員40名
	鶴洋丸	アルミニウム合金船	249.00	1,050kw×2	教員, その他の船員18名, 学生収容人員18名
学生支援部	琴風	F R P	1.7	90	救助艇, 乗船定員10名

部局等所在地一覧

部局の名称	電話番号	所在地
・計画・評価本部	095-819-2020	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・広報戦略本部	095-819-2007	//
・原子力災害対策戦略本部	095-819-8536	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・インスティテューショナル・リサーチ推進本部	095-800-4112	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・ダイバーシティ推進センター	095-819-2889	//
・校友会	095-819-2155	//
・感染症共同研究拠点	095-819-2949	//
・バイオセーフティ管理監室	095-819-2949	//
・監査室	095-819-2182	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・事務局	095-819-2065 (政策企画課)	//
	095-819-2048 (経営企画課)	
	095-819-2878 (研究推進課)	
	095-819-2039 (学術支援課)	
	095-819-2043 (国際企画課)	
	095-819-2072 (教育支援課)	
	095-819-2103 (学生支援課)	
	095-819-2111 (入試課)	
	095-819-2124 (留学支援課)	
	095-819-2016 (管理課)	
	095-819-2032 (人事課)	
	095-819-2161 (経理調達課)	
	095-819-2131 (施設企画課)	
	095-819-2137 (施設整備課)	
	095-819-2141 (施設管理課)	
	095-819-2022 (情報企画課)	
	095-819-2193 (学術情報管理課)	
・多文化社会学部	095-819-2934	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・教育学部	095-819-2263	//
附属幼稚園	095-819-2288	〒852-8131 長崎市文教町4-23
附属小学校	095-819-2272	//
附属中学校	095-819-2278	//
附属特別支援学校	095-845-5646	〒852-8046 長崎市柳谷町42-1
・経済学部	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・医学部	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
保健学科	095-819-7900 (番号案内)	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
・歯学部	095-819-7600 //	〒852-8588 //
・薬学部	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・情報一夕科学部	095-800-4101	//
・工学部	095-819-2489	//
・環境科学部	095-819-2713	//
・水産学部	095-819-2793	//
水産学部附属練習船長崎丸	090-3023-5210	〒851-2213 長崎市多以良町
水産学部附属練習船鶴洋丸	090-3022-2044	//
・多文化社会学研究科	095-819-2934	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・教育学研究科	095-819-2266	//
・経済学研究科	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・工学研究科	095-819-2489	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・水産・環境科学総合研究科		//
水産科学領域	095-819-2793	
環境科学領域	095-819-2713	

部 局 の 名 称	電 話 番 号	所 在 地
・医歯薬学総合研究科 (医学系)	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
(保健学系)	095-819-7900 (番号案内)	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
(歯学系)	095-819-7600 //	〒852-8588 //
(薬学系)	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属先進予防医学研究センター	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属薬用植物園	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・熱帯医学・グローバルヘルス研究科	095-819-7008	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・熱帯医学研究所	095-819-7800 (番号案内)	//
附属アジア・アフリカ感染症研究施設	//	//
附属熱帯医学ミュージアム	095-819-7868	//
・原爆後障害医療研究所	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター	//	//
・病院	095-819-7200 (番号案内)	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・附属図書館 (中央図書館)	095-819-2193	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属図書館 (医学分館)	095-819-7013	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属図書館 (経済学部分館)	095-820-6309	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・保健・医療推進センター	095-819-2214	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・先導生命科学研究支援センター		〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
アイソトープ実験施設	095-819-7150	
動物実験施設	095-819-7134	
遺伝子実験施設	095-819-7190	
・ICT基盤センター	095-819-2222	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・言語教育研究センター	095-819-2077	//
・核兵器廃絶研究センター	095-819-2164	//
・留学生教育・支援センター	095-819-2124	//
・環境保全センター	095-819-2247	//
・教育開発推進機構		//
大学教育イノベーションセンター	095-819-2077	
アドミッションセンター	095-819-2113	
生涯教育センター	095-819-2184	
・研究開発推進機構		〒852-8521 長崎市文教町1-14
研究推進部門	095-819-2231、095-819-2208	
知的財産部門	095-819-2188	
リスクマネジメント部門	095-800-4114	
設備共同利用部門	095-819-2465	
人材育成部門	095-819-2229	
FFGアントレプレナーシップセンター	095-800-4121、095-800-4122	
・グローバル連携機構	095-819-2043	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・海洋未来イノベーション機構	095-819-2039	//
環東シナ海環境資源研究センター	095-850-7311	〒851-2213 長崎市多以良町1551-7
・キャリアセンター	095-819-2101	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・障がい学生支援室	095-819-2006	//
・教員免許状更新講習支援室	095-819-2872	//
・子どもの心の医療・教育センター	095-819-7926 (FAX番号)	〒852-8102 長崎市坂本1丁目7-1
・先端創薬イノベーションセンター	095-819-2230	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・福島未来創造支援研究センター	095-819-7098	//
・国際交流会館	095-845-0201	〒852-8043 長崎市西町12-1
・国際交流会館坂本分館	095-819-7519	〒852-8102 長崎市坂本1丁目7-1
・国際学寮ホルテンシア	095-819-2103	〒852-8042 長崎市白鳥町8-77、8-78
・臨海研修所	095-882-8301	〒851-2111 西彼杵郡時津町子々川郷
・東京事務所	03-6257-1940	〒160-0004 東京都新宿区四谷1-10-2 長崎県東京産業支援センター303号室

長崎大学位置図



- ① 臨海研修所
- ② 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター
- ③ 野母崎研究施設
- ④ 教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校
- ⑤ 教育学部附属特別支援学校
- ⑥ 計画・評価本部, 広報戦略本部, インスティテューショナル・リサーチ推進本部, ダイバーシティ推進センター, 感染症共同研究拠点, 監査室, 事務局, 多文化社会学部, 教育学部, 薬学部, 情報データ科学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 多文化社会学研究科, 教育学研究科, 医歯薬学総合研究科(薬学系), 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 附属薬用植物園, 保健・医療推進センター, ICT 基盤センター, 言語教育研究センター, 核兵器廃絶研究センター, 留学生教育・支援センター, 環境保全センター, 教育開発推進機構, 研究開発推進機構, グローバル連携機構, 海洋未来イノベーション機構, キャリアセンター, 障がい学生支援室, 教員免許状更新講習支援室, 先端創薬イノベーションセンター, 福島未来創造支援研究センター
- ⑦ 国際交流会館
- ⑧ 医学部(医学科), 熱帯医学研究所, 原爆後障害医療研究所, 医歯薬学総合研究科(医学系), 先端生命科学支援センター, 附属図書館(医学分館), 熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- ⑨ 病院, 歯学部, 薬学部
医歯薬学総合研究科(保健学系・歯学系・薬学系), 医学部(保健学科), 国際交流会館坂本分館, 原子力災害対策戦略本部, 子どもの心の医療・教育センター
- ⑩ 経済学部, 経済学研究科, 附属図書館(経済学部分館)
- ⑪ 国際学寮ホルテンシア

長崎大学ロゴマーク

正式ロゴマーク



従来、長崎大学で使用されていたシンボルマーク（帆船マーク）は、昭和24年に大学構成員の連帯意識を高め、総合大学として発展するための心のよりどころとして、鎖国時代の文化の門戸であった長崎に因むオランダ船の舳先にNU(Nagasaki University)の頭文字を付け、右肩に「大學」の字を配したマークが制定されました。

国立大学法人化を機に従来のシンボルマークを精緻化し、新たに正式ロゴマークとして平成17年4月1日に制定したものです。

略式ロゴマーク



正式ロゴマークとは別に広く使用するものとして新たに略式ロゴマークを平成17年4月1日に制定しました。

中央にある“黄色系の図形”は「学生・教職員」を、右にある“緑色系の図形”は自然環境の豊かな「地域・日本国土」を、そして左にある“青色系の図形”は「地域・日本国土」を取り巻く「広大な海とその先にある国際社会」を表します。

これらの図形の“重なり”はそれぞれの分野での「調和と貢献」を、また“黄色系の円”は「創造」を表しています。

全体を見ると「学生・教職員」と「地域・日本国土」とにより形作られる“人”と「国際社会」とにより形作られた“人”とはさらに合わさって、「長崎大学」を表す“N”を構成しています。



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

【編集発行】長崎大学広報戦略本部

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2007

URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

2020年7月発行